



PHIL HAR MONY

April 2022
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを正しく常時着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。ただし状況により係りがもぎる場合があります。
- プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- 政府や自治体によるイベント開催要件に変更があった場合は、チケット販売の一時停止や入場者数上限の設定等を行います。
- ロビー等では大きな声での歓談はお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。
- 喫茶コーナーは会場により、営業縮小もしくは休止している場合があります。
- 会場内でのお食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
- クロークは休止しております。
- ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
- 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
- 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の入替えに努めます。
- スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
- 厚生労働省による新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)や自治体独自の通知アプリなどの活用を推奨いたします。

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、時計のアラーム等は必ずお切りください



演奏は最後の余韻までお楽しみください



場内での録画、録音、写真撮影は固くお断りいたします



私語、パンフレットをめくる音など、物音が出ないように配慮ください



演奏中の入退場はご遠慮ください



補聴器が正しく装着されているかご確認ください

PHILHARMONY

CONTENTS
APRIL 2022

4

- 3 **特集** **NHK交響楽団定期公演 2022-23シーズンプログラム**
(2022年9月~2023年6月)
- 18 [公演プログラム] **Ikebukuro Program A**
- 23 [公演プログラム] **Ikebukuro Program C**
- 26 [シリーズ] **N響百年史 | 第27回 | 芸術のために身を捨てる覚悟とは言うけれど** 片山杜秀
- 31 2022年5月定期公演の聴きどころ [Artist Profiles & Program Notes]
——公演企画担当者から
- 33 チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月) 45 Ikebukuro Program A
- 34 2021-22定期公演プログラム 48 Ikebukuro Program C
- 35 各地の公演
- 37 NHK交響楽団メンバー 50 The Subscription Concerts Program 2021-22
- 38 特別支援・特別協力・賛助会員 51 The Subscription Concerts Program 2022-23
- 42 曲目解説執筆者 / Information / お詫びと訂正 54 役員等・団友
- 43 みなさまの声を聞かせてください!
- 44 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO
Members

サントリーホールの改修工事にともない、4月定期公演Bプログラムの開催を休止します。

インターネットアンケートに ご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。ご協力をお願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

Special Thanks



NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援


With Special Support of

岩谷産業株式会社

Iwatani Corporation

 三菱地所株式会社

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

 みずほ銀行

Mizuho Bank, Ltd.

公益財団法人 渋谷育英会

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて
©Lukas Beck

NHK交響楽団定期公演 2022-23シーズンプログラム (2022年9月～2023年6月)



Gustavo Dudamel



Eduard Kuraev



Eduard Bergson



Shiro Takahashi



Eduard Skjold



Eduard Shcherbakov



Eduard Yermakov



Eduard Reizen



Eduard Kabanov



Eduard Kabanov

NHKホール改修の終了に伴い、今シーズンからA・Cプログラムの会場を同ホールに戻して開催いたします。また各プログラムのコンセプトの明確化、開演時刻の変更、ユースチケット拡充など、より気軽にN響の演奏をお楽しみいただくためにさまざまな工夫をこらして、みなさまを会場にお迎えます。

新首席指揮者ルイーゼを中心に、ブロムシュテット、P. ヤルヴィ、尾高忠明などの世界的巨匠や名ソリストたちと奏でる音楽に、ひとりでも多くの方が触れていただけることを願っています。

2022-23シーズン定期公演プログラム

PROGRAM

A

NHKホール | 土 6:00pm 日 2:00pm

N響が国内外の最高峰の指揮者やソリストと多彩な曲目をお贈りするプログラム。オーケストラ音楽の醍醐味を存分に味わえます。またNHKホールのスケールの大きさを生かした、声楽入りの作品や大編成の曲目が並ぶのもAプログラムならではの特色です。

※ NHKホールの改修工事の終了にともない、今シーズンより会場をNHKホールに戻して開催します。
※ 日曜公演の開演時刻を2:00pmに変更させていただきます。

Autumn

2022

09 September

新首席指揮者が最高峰の歌手たちと築く音の壮麗な記念碑

ファビオ・ルイーゼ首席指揮者就任記念

第1962回

ヴェルディ／レクイエム

9/10 土 6:00pm

指揮：ファビオ・ルイーゼ テノール：ルネ・バルベラ
ソプラノ：ヒブラ・ゲルズマーワ バス：ヨン・グアンチョル
メゾ・ソプラノ：オレシア・ベトロヴァ 合唱：新国立劇場合唱団

9/11 日 2:00pm



一般	ユースチケット
S ¥12,000	S ¥6,000
A ¥10,000	A ¥5,000
B ¥8,000	B ¥4,000
C ¥6,500	C ¥3,200
D ¥5,000	D ¥2,500
E ¥3,300	E ¥1,600

2022

10 October

マーラー芸術の集大成《交響曲第9番》をプロムシュテットが究める

マーラー／交響曲 第9番 二長調

第1965回

指揮：ヘルベルト・プロムシュテット

10/15 土 6:00pm

10/16 日 2:00pm



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800
E ¥2,800	E ¥1,400

2022

11 November

完全燃焼への序章 井上道義のお家芸 伊福部&シヨスタコーヴィチ

伊福部 昭／シンフォニア・タブカーラ

シヨスタコーヴィチ／交響曲 第10番 ホ短調 作品93

第1968回

指揮：井上道義

11/12 土 6:00pm

11/13 日 2:00pm



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

Winter

2022

12 December

ルイーゼ&藤村のコンビで味わう19世紀ドイツロマンティシズムの真髄

ワグナー／ウェーゼンドクンの5つの詩

ブルックナー／交響曲 第2番 八短調(初稿/1872年)

第1971回

指揮：ファビオ・ルイーゼ
メゾ・ソプラノ：藤村実穂子

12/3 土 6:00pm

12/4 日 2:00pm



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800
E ¥2,800	E ¥1,400

2023

01

January

第1974回

1/14 土 6:00pm

1/15 日 2:00pm

名匠がブラームスとベートーヴェンの傑作を携え
3年ぶりに登場!

ブラームス/ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品83

ベートーヴェン/交響曲 第4番 変ロ長調 作品60

指揮:トゥガン・ソヒエフ

ピアノ:ハオチェン・チャン



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

2023

02

February

第1977回

2/4 土 6:00pm

2/5 日 2:00pm

父尚忠とその友人たち

尾高忠明 こだわりの選曲が現代人の魂に響く

尾高尚忠/チェロ協奏曲 イ短調 作品20

バズフィク/カティンの墓碑銘

ルトスワフスキ/管弦楽のための協奏曲

指揮:尾高忠明

チェロ:宮田 大



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

Spring

2023

04

April

第1980回

4/15 土 6:00pm

4/16 日 2:00pm

バーヴォ・ヤルヴィ&N響が大管弦楽で描く
アルプスの壮大なパノラマ

R. シュトラウス/「ヨゼフの伝説」から交響的断章

R. シュトラウス/アルプス交響曲 作品64

指揮:バーヴォ・ヤルヴィ



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800
E ¥2,800	E ¥1,400

2023

05

May

第1983回

5/13 土 6:00pm

5/14 日 2:00pm

下野竜也が見つめる“祈り”と“奇跡”
そしてライフワークのドヴォルザーク

ラフマニノフ/歌曲集 作品34

—「ラザロのよみがえり」(下野竜也編)、「ヴォカリーズ」

グバイドウーリナ/オッフェルトリウム*

ドヴォルザーク/交響曲 第7番 二短調 作品70

指揮:下野竜也

ヴァイオリン:ハイバ・スクリデ*



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

2023

06

June

第1986回

6/10 土 6:00pm

6/11 日 2:00pm

“カゼツラリバイバル”の仕掛人
ノセダが贈る傑作歌劇のエッセンス

プロコフィエフ/交響組曲「3つのオレンジへの恋」
作品33bis

プロコフィエフ/ピアノ協奏曲 第2番ト短調 作品16

カゼツラ/歌劇「蛇女」からの交響的断章 [日本初演]

指揮:ジャンンドレア・ノセダ

ピアノ:アレクサンドル・トラーゼ



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500
E ¥2,000	E ¥1,000

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥65,970 A ¥56,610 B ¥44,010 C ¥35,730 D ¥27,540 D(ユースチケット) ¥8,100(税込)

シーズン会員券(3回) | S ¥23,820 A ¥19,860 B ¥15,570 C ¥12,540 D ¥9,480 D(ユースチケット) ¥3,300(税込)

古今の天才たちが築き上げた精緻で壮大な「音の建造物」を ゆったり時間をかけて巡る

コンサートホールでオーケストラを聴く楽しみは何かと聞かれたら、録音や配信では決して味わえない圧倒的な音響空間に身を浸すこと、古今の天才たちが築き上げた精緻で壮大な「音の建造物」を、ゆったり時間をかけて巡ること、という答えになるでしょうか。「Aプログラム」は、本物志向の愛好家はもとより、日常を離れて異なる時空を旅したい、意欲と好奇心あふれる皆様に、特にお勧めしたいシリーズです。

この秋、首席指揮者に就任するファビオ・ルイーゼは、記念すべき最初のプログラムにヴェルディの《レクイエム》を選びました。世界トップのオペラハウスで活躍する歌手たちが集う、まさに夢の舞台です。人類の来し方行く末に根源的な問いを投げかけるこの曲は、宗教音楽という枠を超えて、さまざまな不安を抱えながら生きる私たち現代人に、多くのヒントと慰めを与えてくれることでしょう。

ルイーゼ在任中の目玉となるブルックナー、今シーズンは《第2番》を取り上げます。ベートーヴェンの《第9》同様、スケルツォを第2楽章に持つ初稿版での演奏は、貴重な機会となります。日本を代表するワグナー歌手、藤村実穂子が歌う《ウェーゼンドングの5つの詩》も、忘れがたい体験となるはずです。

桂冠名誉指揮者プロムシュテットは、マーラー^{ひつせい}畢生の傑作《交響曲第9番》を12年ぶりに指揮します。N響との共演歴40年以上、95歳を迎えるマエストロの熱意と集中力は、いささかも衰えることがありません。フィナーレの余韻に到るまで、確信に満ちたタクトで80分の大曲を描き尽くすでしょう。

新たに名誉指揮者となるパーヴォ・ヤルヴィは、首席指揮者在任中に果たし得なかった《アルプス交響曲》に挑みます。大勢のファンが待ち望んだプロジェクトですが、コロナの影響で2度までも延期となりました。今度こそ「3度目の正直」と行きたいところです。

次世代の巨匠と目される2人の中堅指揮者ソヒエフとノセダは、これまでもN響と記憶に残る名演を残してきました。ソヒエフは、ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団との演奏が話題となったベートーヴェン《交響曲第4番》、ノセダは得意のプロコフィエフと、ライフワークである祖国イタリアの作曲家カゼッラを取り上げます。特に日本初演となる《蛇女》にご期待ください。新進気鋭のハオチェン・チャンによるロマン派の王道ブラームス、ベテランのトラーゼが弾くアグレッシブなプロコフィエフと、好対照なピアニストによる協奏曲も興味深い組み合わせです。

邦人指揮者たちの実力が見直されたのは、入国制限の「怪我の功名」でした。この2年、八面六臂の活躍を見せた井上道義、尾高忠明、下野竜也が、それぞれこだわり抜いたプログラムを披露します。井上道義のお家芸とも呼ぶべき伊福部 & ショスタコーヴィチは、大好評だった企画の第3弾。正指揮者・尾高忠明は、父・尚忠とその友人たちの意欲作を世に問います。冷厳な美しさを湛えた《オッフエルトリウム》と甘い旋律に満ちたドヴォルザークは、下野竜也の両面の魅力を存分に発揮できる選曲です。

西川 彰一 | NHK交響楽団 演奏制作部長

※ B・Cプログラムの同項も執筆

2022-23シーズン定期公演プログラム

PROGRAM

B

サントリーホール

水 7:00pm

木 7:00pm

日本を代表するクラシックの殿堂、サントリーホールでお届けするプログラム。モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス、ドヴォルザークなど大作曲家の有名曲を中心に、国際的な指揮者やソリストとともにクオリティの高い演奏をお贈りします。

Autumn

2022

09 September

第1964回

9/21 水 7:00pm

9/22 木 7:00pm

新首席指揮者が響と取り組む
ドイツ・オーストリア王道の傑作

ファビオ・ルイージ首席指揮者就任記念

ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61

ブラームス／交響曲 第2番 二長調 作品73

指揮：ファビオ・ルイージ ヴァイオリン：ジェームズ・エネス



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2022

10 October

第1967回

10/26 水 7:00pm

10/27 木 7:00pm

グリーグとニルセン
プロムシュテットが愛する北欧の名作

グリーグ／ピアノ協奏曲 イ短調 作品16

ニルセン／交響曲 第3番 作品27「広がり」

指揮：ヘルベルト・プロムシュテット

ピアノ：オリ・ムストネン



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2022

11 November

第1970回

11/23 水祝 7:00pm

11/24 木 7:00pm

エキスパートのタクトで味わう
英国作曲界の巨人による叙情あふれる名作

ヴォーン・ウィリアムズ生誕150年

ヴォーン・ウィリアムズ／

「富める人とラザロ」の5つのヴァリエーション

メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 小短調 作品64

ヴォーン・ウィリアムズ／交響曲 第5番 二長調

指揮：レナード・スラットキン ヴァイオリン：レイ・チェン



一般	ユースチケット
S ¥8,900	S ¥4,000
A ¥7,400	A ¥3,500
B ¥5,800	B ¥2,800
C ¥4,700	C ¥2,100
D ¥3,700	D ¥1,500

Winter

2022

12 December

第1973回

12/14 水 7:00pm

12/15 木 7:00pm

ルイージの指揮、河村尚子のピアノで
“究極”の名曲を堪能する

グリンカ／歌劇「ルスランとリュドミーラ」序曲

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18

ドヴォルザーク／交響曲 第9番 ホ短調 作品95

「新世界から」

指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：河村尚子



一般	ユースチケット
S ¥9,800	S ¥4,500
A ¥8,400	A ¥4,000
B ¥6,700	B ¥3,300
C ¥5,400	C ¥2,500
D ¥4,400	D ¥1,800

2023

01

January

色彩の魔術師ソビエフがセレクトする
20世紀の名品たち



一般

S ¥8,900

A ¥7,400

B ¥5,800

C ¥4,700

D ¥3,700

ユースチケット

S ¥4,000

A ¥3,500

B ¥2,800

C ¥2,100

D ¥1,500

第1976回

1/25 水 7:00pm

ラヴェル／「ダフニスとクロエ」組曲 第1番、第2番
ドビュッシー／交響詩「海」

指揮：トウガン・ソビエフ
ヴァイオラ：アミハイ・グロス

1/26 木 7:00pm

2023

02

February

大器フルシヤ、母国チェコの愛国的作品と
ブラームスの名作を携え、響き再登場



一般

S ¥8,900

A ¥7,400

B ¥5,800

C ¥4,700

D ¥3,700

ユースチケット

S ¥4,000

A ¥3,500

B ¥2,800

C ¥2,100

D ¥1,500

第1979回

2/15 水 7:00pm

ドヴォルザーク／序曲「フス教徒」作品67
シマノフスキー／交響曲 第4番 作品60「協奏交響曲」*
ブラームス／交響曲 第4番 小短調 作品98

指揮：ヤコフ・フルシヤ
ピアノ：ビョートル・アンデルシェフスキ*

2/16 木 7:00pm

Spring

2023

04

April

シベリウス、ラフマニノフ、チャイコフスキー
バーヴォ・ヤルヴィの十八番でその至芸を聴く



一般

S ¥9,800

A ¥8,400

B ¥6,700

C ¥5,400

D ¥4,400

ユースチケット

S ¥4,500

A ¥4,000

B ¥3,300

C ¥2,500

D ¥1,800

第1982回

4/26 水 7:00pm

シベリウス／交響曲 第4番 小短調 作品63
ラフマニノフ／バガニーニの主題による狂詩曲 作品43*
チャイコフスキー／幻想曲「フランチェスカ・ダ・リミニ」
作品32

指揮：バーヴォ・ヤルヴィ ピアノ：マリー・アンジュ・グッチ*

4/27 木 7:00pm

2023

05

May

新緑の季節 清々しいホルンの響きと
ルイージが誘う《田園》



一般

S ¥9,800

A ¥8,400

B ¥6,700

C ¥5,400

D ¥4,400

ユースチケット

S ¥4,500

A ¥4,000

B ¥3,300

C ¥2,500

D ¥1,800

第1985回

5/24 水 7:00pm

ハイドン／交響曲 第82番 小長調 Hob. I-82「くま」
モーツァルト／ホルン協奏曲 第3番 変小長調 K. 447
ベートーヴェン／交響曲 第6番 小長調 作品68「田園」

指揮：ファビオ・ルイージ
ホルン：福川伸陽

5/25 木 7:00pm

2023

06

June

ノセダがメモリアルイヤーに問う
ラフマニノフ初期作の真髄



一般

S ¥8,900

A ¥7,400

B ¥5,800

C ¥4,700

D ¥3,700

ユースチケット

S ¥4,000

A ¥3,500

B ¥2,800

C ¥2,100

D ¥1,500

第1988回

6/21 水 7:00pm

バッハ（レスピーギ編）／3つのコラール
レスピーギ／グレゴリオ風協奏曲*
ラフマニノフ／交響曲 第1番 小短調 作品13

指揮：ジャンドレア・ノセダ
ヴァイオリン：庄司紗矢香*

6/22 木 7:00pm

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥65,970 A ¥56,610 B ¥44,010 C ¥35,730 D ¥27,540 D(ユースチケット) ¥8,100(税込)

※日プログラムではシーズン会員券の販売は行いません

極上のソリストとN響が織り成す 色彩豊かな音のタペストリーを心ゆくまで堪能する

「Bプログラム」は、“極上のソリストで味わう贅沢な時間”をコンセプトにお送りします。サントリーホール
の響きが好きて「N響を聴くならここで」という方も少なからずいらっしゃるようです。そう言わず、他の会
場でも聴いて頂けると嬉しいのですが、このホールの優れた音響設計が、繊細なニュアンスを伝えるの
に適していることは確かです。可能な限りその特性を生かした選曲となるよう心掛けました。豪華な顔ぶ
れのソリストとN響が織りなす、色彩豊かな音のタペストリーを、心ゆくまでお楽しみ頂ければ幸いです。

ソリストのソリストたる所以が、唯一無二の表現力やテクニックを備えていることだとすれば、今シーズ
ンのBプログラムに登場するのは、誰もがその名に値する人たちです。ヴァイオリンのエーネス、ピアノ
のムストネンやアンデルシェフスキは、過去の共演でも見せた通り、全く独自の音楽観を私たちに提示し
てくれます。「こんな世界があったのか……」と。静かにじっくり耳を傾けるべき演奏家だと思えます。

初登場の若手、レイ・チェンとマリー・アンジュ・グッチも、華々しいキャリアとは裏腹に、浮ついたところ
が微塵もなく、レパートリーをしっかりと掘り下げ、磨き込んでいくタイプのアーティストです。聴きなじんだ
名曲にどうアプローチするのでしょうか。初登場と言え、ベルリン・フィルの第1首席ヴィオラ奏者アミハ
イ・グロスが弾くバルトークには、オーケストラのメンバーからも早々に期待の声が寄せられています。

欧米の第一線で活躍する河村尚子と庄司紗矢香、N響を離れ新しいステージに踏み出したホルン
の福川伸陽。充実一途の日本人ソリストからも目が離せません。

一方、タイトル指揮者たちが手掛ける交響曲には、各自の個性がよく出ています。ルイージはブラ
ームス、ドヴォルザーク、ベートーヴェンというオーソドックス路線。《新世界から》や《田園》のような人気
曲を首席指揮者のタクトで聴くのも、時には乙なものではないでしょうか。全交響曲を録音するなど、シ
ベリウスに並々ならぬ情熱を注ぐパーヴォ・ヤルヴィには今回、《第4番》をお願いしました。聴き込むほど
に滋味豊かで、最高傑作と呼ぶ人も多い作品です。彼自身も「いつかき」と望んでいました。ブロム
シュテットは昨年の名演が記憶に新しいニルセンを再び。「広がり」の愛称を持つ《交響曲第3番》が
ホール空間を満たすのは、想像するだけで楽しみです。他にもソビエフ得意の近代フランス音楽、フ
ルシャが指揮する母国チェコの秘曲など、注目ポイント満載です。

ところで2023年はロシアの大作作曲家、ラフマニノフの生誕150年。N響では2022年12月から
2023年6月にかけて、毎月1曲ずつ彼の作品を演奏します。《ピアノ協奏曲第2番》《パガニーニの主
題による狂詩曲》といったポピュラーな曲に加え、ノセダが強い思い入れを持つ初期の力作《交響曲第
1番》を聴けるBプログラムは、特にラフマニノフ好きにお勧めです。さらには英国のヴォーン・ウィリアム
ズも2022年が生誕150年。優れた解釈者として定評のあるスラットキンの指揮で、心に沁み入る2つ
の佳品を聴きます。めったにないチャンスをお聴き逃しなく。

2022-23シーズン定期公演プログラム

PROGRAM



NHKホール | 金 7:30pm 土 2:00pm

通常よりコンパクトな60分～80分程度に公演時間を凝縮し、世界的指揮者たちとともにとびきりの名作をリーズナブルな価格でお届けします。今シーズンからは曲間に解説をまじえるなど、より親しみやすいコンサートを目指します。

※ NHKホールの改修工事の終了にともない、今シーズンより会場をNHKホールに戻して開催します。

※ 休憩のない、60～80分程度の公演となります。

※ 金曜公演の開演時刻を7:30pm、土曜公演の開演時刻を2:00pmに変更させていただきます。

[Cプログラム限定]「開演前の室内楽」 1日目は6:45pm、2日目は1:15pmよりホールの舞台上で開催します。ご自身の座席で約15分のN響メンバーによるミニコンサートをお楽しみください。室内楽演奏中の客席への出入りは自由です。

Autumn

2022

09

September

第1963回

9/16

金 7:30pm

9/17

土 2:00pm

ルイージ& N響が紡ぐ
R. シュトラウスの豊潤な響きに身をゆだねる

ファビオ・ルイージ首席指揮者就任記念

R. シュトラウス／交響詩「ドン・ファン」作品20

R. シュトラウス／オーボエ協奏曲 二長調

R. シュトラウス／歌劇「ばらの騎士」組曲

指揮：ファビオ・ルイージ オーボエ：エヴァ・スタイナー



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2022

10

October

第1966回

10/21

金 7:30pm

10/22

土 2:00pm

巨匠が愛情をこめて奏でる
シューベルトの知られざる名作

シューベルト／交響曲 第1番 二長調 D. 82

シューベルト／交響曲 第6番 八長調 D. 589

指揮：ヘルベルト・ブロムシュテット



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2022

11

November

第1969回

11/18

金 7:30pm

11/19

土 2:00pm

アメリカ音楽の伝道師スラットキンの
コーブランド名バレエ音楽集

コーブランド／バレエ音楽「アバラチアの春」(全曲)

コーブランド／バレエ音楽「ロデオ」(全曲)

指揮：レナード・スラットキン



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

Winter

2022

12

December

第1972回

12/9

金 7:30pm

12/10

土 2:00pm

モーツァルトの輝き、メンデルスゾーンの哀愁
ルイージが描き出す鮮烈なコントラスト

モーツァルト／交響曲 第36番 八長調 K. 425「リンツ」

メンデルスゾーン／交響曲 第3番 イ短調 作品56

「スコットランド」

指揮：ファビオ・ルイージ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023
01 January
第1975回
1/20 金 7:30pm
1/21 土 2:00pm

名匠が贈る
ラフマニノフ、チャイコフスキーの初期の名作
ラフマニノフ／幻想曲「岩」作品7
チャイコフスキー／交響曲 第1番ト短調 作品13
「冬の日の幻想」
指揮：トゥガン・ソヒエフ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023
02 February
第1978回
2/10 金 7:30pm
2/11 土 祝 2:00pm

愛、怒り、高揚、憧れ、幻想
—ダンスに込められた心の機微を
フルシャが浮き上がらせる
バーンスタイン／「ウエスト・サイド・ストーリー」から
シンフォニック・ダンス
ラフマニノフ／交響的舞曲 作品45
指揮：ヤクブ・フルシャ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

Spring

2023
04 April
第1981回
4/21 金 7:30pm
4/22 土 2:00pm

小粒でもピリリと辛い！
パーヴォ・ヤルヴィが贈るお洒落で小粒なフランス作品集
ルーセル／弦楽のためのシンフォニエッタ 作品52
ブーランク／シンフォニエッタ
イペール／室内管弦楽のためのディヴェルティスマン
指揮：パーヴォ・ヤルヴィ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023
05 May
第1984回
5/19 金 7:30pm
5/20 土 2:00pm

19世紀末のフランスを象徴する交響楽の名品を
ルイージの指揮で聴く
サン・サーンス／ピアノ協奏曲 第5番 へ長調 作品103
「エジプト風」
フランク／交響曲 二短調
指揮：ファビオ・ルイージ
ピアノ：パスカル・ロジェ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

2023
06 June
第1987回
6/16 金 7:30pm
6/17 土 2:00pm

満を持して、響で初披露
ノセダ得意のショスタコーヴィチ《第8番》
ショスタコーヴィチ／交響曲 第8番 ハ短調 作品65
指揮：ジャンドレア・ノセダ



一般	ユースチケット
S ¥7,400	S ¥3,500
A ¥6,500	A ¥3,000
B ¥5,200	B ¥2,400
C ¥4,200	C ¥1,900
D ¥3,200	D ¥1,400
E ¥1,600	E ¥800

(以上、すべて税込)

年間会員券(9回) | S ¥56,610 A ¥49,725 B ¥39,780 C ¥32,130 D ¥24,480 D(ユースチケット) ¥7,200(税込)
シーズン会員券(3回) | S ¥19,890 A ¥17,520 B ¥14,010 C ¥11,250 D ¥8,550 D(ユースチケット) ¥3,000(税込)

心の琴線をふるわす多彩な「名曲」をコンパクトに、そしてリーズナブルに聴く

「初めての人も気軽にオーケストラを」という発想で、装いも新たにスタートした「Cプログラム」が2シーズン目を迎えます。超一流の指揮者陣、内容の濃さはそのままに、お得なチケット料金とコンパクトな演奏時間が特徴です。平日の夜は遅めに始まるので、忙しい方は慌てずに来場でき、時間に余裕があれば開演前の室内楽を楽しむこともできます。コンサートの後も週末のナイトライフが満喫できる、“人生を充実させたい大人”にもぴったりのシリーズです。

公演の企画をしていると、しばしば「クラシックは敷居が高い(本来は誤用)」とか「初心者にもわかりやすい名曲を」などと言われるのですが、そもそも「わかりやすい名曲」とは何なのでしょう。《ジュピター》や《運命》が名曲なのは明らかだとしても、決してこれらを「わかりやすい音楽」の一言で片付けることはできません。一般にはそれほど有名でなくても、聴く人の心を捉えて離さない魅力を秘めた「名曲」は、他にも世の中に数多く存在するのに、そうした音楽が「よく知らない」という理由で遠ざけられるのは、あまりに勿体ないことです。ファッションでも料理でも、選択肢が無限にあるからこそ奥深く、興味が尽きないのだと思います。初めて聴く人の琴線に触れて欲しいという願いを込めて、ヴァラエティに富んだラインナップを目指しました。有名かどうかという基準は脇に置いて、どうか先入観なしに聴いてみてください。きっと何かしら得るものがあるはず。もっとも愛好家の皆様にとっては、ほとんどが「おなじみの名曲」ばかりです。

シーズン開幕の9月に登場するのはファビオ・ルイージ。伝説のプレイボーイを描いた《ドン・ファン》や、オペラの名旋律が次々に現れる《「ばらの騎士」組曲》など、得意のR. シュトラウスを集めたプログラムは、首席指揮者としての船出にふさわしいものです。ルイージは12月にも指揮台に立ち、モーツァルトとメンデルスゾーンが旅先で手掛けた交響曲の名品、《リンツ》と《スコットランド》を披露します。さらに5月は19世紀フランス音楽の傑作。エキゾチックな情緒をたたえたサン・サーンスの《ピアノ協奏曲第5番「エジプト風」》と「循環主題」で知られるフランクの《交響曲》です。

10月はブロムシュテット。シューベルトの2つの交響曲は、今の日本で言えば、高校生か大学生の年齢で書かれました。老いてますます生命力みなぎる巨匠が、みずみずしい青春の足跡に迫ります。

11月のスラットキンと1月のソヒエフはそれぞれ「お国物」を指揮します。アメリカの民謡やダンス音楽がふんだんに盛り込まれたコープランドのパレエ音楽は、スラットキンが大切にしてきたレパートリー。片やソヒエフはロシアの冬の美しい夢を描きます。2月のフルシャはロシアとアメリカ、2つのシンフォニック・ダンスを組み合わせました。対照的な両曲ですが、どちらも聴きごたえ満点です。

4月のパーヴォ・ヤルヴィは、軽妙洒落なフランス音楽。パーヴォ持ち前の推進力は、こうした小回りの利く曲でより一層発揮されるのかも知れません。締めめの6月は、ノセダごんしん渾身のショスタコーヴィチ。喜怒哀楽が渦巻く《交響曲第8番》は、まさに人生の縮図です。

定期公演リニューアルのご案内

新シーズンでは、N響ならではの豪華な出演者や充実した演目は従来通りのままに、リニューアルします。

公演会場の変更 (A・Cプログラム)

前シーズンまで東京芸術劇場で開催されたAプログラムとCプログラムの会場を、NHKホールに戻して開催します。

※ Bプログラムは引き続きサントリーホールで開催します。

開演時刻の変更 (A・Cプログラム)

公演会場	開演時刻 (2022年9月～)
Aプログラム NHKホール	1日目(土) 6:00pm 2日目(日) 2:00pm
Bプログラム サントリーホール	1日目(水) 7:00pm 2日目(木) 7:00pm
Cプログラム NHKホール	1日目(金) 7:30pm 2日目(土) 2:00pm

Aプログラム2日目(日曜)とCプログラム2日目(土曜)は2:00pmに、Cプログラム1日目(金曜)は7:30pmに、それぞれ開演時刻を変更させていただきます。

※ Aプログラム1日目(6:00pm)、Bプログラム1・2日目(7:00pm)の開演時刻に変更はございません。

ユースチケットの拡充

25歳以下の方へのお得なチケット、ユースチケットが今シーズンからさらにお得になります。

1回券

全券種で割引率を50%以上に設定。今シーズンよりユースチケットが適用されるE席(NHKホール限定)では1000円～(Aプログラム)／800円(Cプログラム)でコンサートをお楽しみいただけます。

定期会員券

D席にユースチケット会員券をご用意。今シーズンからは、A・Bプログラムは1公演あたり900円～、Cプログラムは800円～と、E席1回券(A・Cプログラムのみ)と同等以上のお得な価格でお求めいただけます。

NHKホール公演のE席を指定席に

NHKホールの3階後方に設けられたE席自由席は、感染症対策などの理由から、今シーズンより指定席として販売させていただきます。この指定席化にあわせ、これまで対象外だった「WEBセレクト3+」(8%OFF)、「定期会員割引」(10%OFF)、「ユースチケット」(50%OFF)をE席でも導入いたします。

お得なセレクト券「WEBセレクト3+」

WEBセレクト3+(スリープラス)は、昨2021-22シーズンから導入された定期会員券の「お得さ」(割引)と1回券の「使い勝手の良さ」(自由にチケットを選べる)をあわせ持ったチケットです。コロナの影響による相次ぐ発売日等の変更により、2021-22シーズンにその特色を生かせる機会は少なくなりましたが、今シーズンも継続することを決定。自分の好みに合ったコンサートをお得に聴いてみませんか?

WEBセレクト3+とは?

AUTUMN(9～11月)、WINTER(12～2月)、SPRING(4～6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、お好きな公演を3つ以上セレクトして、まとめて購入すると1回券の一般料金より約8%の割引。座席や券種は、公演ごとに自由にお選びいただけます(WEBチケットN響のみで販売)。

チケットのご案内(定期公演 2022年9月~2023年6月)

定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10~30%お得です！(割引率は公演や券種によって異なります)

※ A-CプログラムはNHKホール改修工事の終了にともない、今シーズンより会場をNHKホールに戻して開催します

※ A-2とC-2の開演時刻は2:00pm、C-1の開演時刻は7:30とさせていただきます。A-1(6:00pm)、B-1、B-2(7:00pm)の開演時刻に変更はございません

発売開始日	年間会員券、シーズン会員券(Autumn)	2022年7月14日[木](定期会員先行)／2022年7月18日[月祝](一般)
	シーズン会員券(Winter)	2022年10月13日[木](定期会員先行)／2022年10月19日[水](一般)
	シーズン会員券(Spring)	2023年2月14日[火](定期会員先行)／2023年2月17日[金](一般)

料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(コースチケット)
年間会員券(9回) [A・Bプログラム]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥8,100 (¥900)
年間会員券(9回) [Cプログラム]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥7,200 (¥800)

券種	S	A	B	C	D	D(コースチケット)
シーズン会員券(3回) [Aプログラム]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,620)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,300 (¥1,100)
シーズン会員券(3回) [Cプログラム]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,000 (¥1,000)

※()内は1公演あたりの単価

1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日	9・10・11月	2022年8月発売予定(定期会員先行／一般)
	12・1・2月	2022年10月発売予定(定期会員先行／一般)
	4・5・6月	2023年3月発売予定(定期会員先行／一般)

※発売日は決まり次第、N響ホームページ等で発表いたします

※発売予定時期は変更となる場合があります

WEBセレクト3+

Autumn(9~11月)、Winter(12~2月)、Spring(4~6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。座席・券種は自由にお選びいただけます。

※ お取り扱いにはWEBチケットN響のみとなります

※ 1回券の一般発売日からご利用いただけます

※ 割引の併用はできません

※ 定期会員の方は1回券の会員割引(約10%割引)をご利用ください

ユースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。1回券と定期会員券(D席)でご利用いただけます。料金は各公演の情報をご覧ください。

※ N響ガイドのみの販売となります

※ 25歳以下の証明となるものをご提示いただけます

お問い合わせ

N響ガイド | TEL 03-5793-8161

営業時間: 11:00am~5:00pm

定休日: 土・日・祝日、定期公演Aプログラムの翌月曜

● 主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am~開演時刻まで営業

● 発売初日の土・日・祝日は11:00am~3:00pmの営業

● 感染症予防対策のため電話受付のみの営業

WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhks.or.jp>

※ やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません

Please follow us on     

T H E

4



駆けぬける歓び

bmw.co.jp

詳しくはお近くのBMW正規ディーラーまたはBMWカスタマー・インタラクション・センターへ 0120-269-437

#JOY
MOVES
ME



私と、響き合う。

「ほしい音は、私が表現したいことをかなえてくれる音。」
ヤマハが新しいCFXに込めた設計思想「ユニボディコンセプト」は、
すべてが、ピアニストの想いを実現するためにあります。
ピアノ自身が弾く者の意思を感じているかのように反応し、
演奏者と楽器が一体となって響き合うことで生まれた音が、
コンサートホールの空間を満たしていく。
これこそ、ヤマハが追い求めてきた瞬間に他なりません。
人の心を動かす音は、ピアノだけが奏でるものではなく、
ピアニストとともに作りあげていくものだから。

Yamaha New CFX 誕生。



美しい国の、美しい一日がある。



PALACE HOTEL TOKYO

PROGRAM

池袋

A

第1954回

東京芸術劇場

4/9 土 6:00pm

4/10 日 2:00pm

指揮 クリストフ・エッシェンバッハ

フルート スタティス・カラパノス

コンサートマスター 篠崎史紀

ドヴォルザーク

序曲「謝肉祭」作品92[10']

モーツァルト

フルート協奏曲 第1番 ト長調 K. 313

[25']

I アレグロ・マエストーン

II アダージョ・マ・ノン・トロツポ

III ロンド：テンポ・ディ・メヌエット

—— 休憩(20分) ——

ベートーヴェン

交響曲 第7番 イ長調 作品92[43']

I ポーコ・ソステヌートーヴィヴァーチェ

II アレグレット

III プレスト

IV アレグロ・コン・プリオ

後援：豊島区

インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきたく、ぜひお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhkso.or.jp/enquete.html>

クリストフ・エッセンバッハ (指揮)



© Joshua Heitman

1940年ドイツのブレスラウ(現ポーランドのヴロツワフ)生まれ。ピアノをエリツァ・ハンゼンに師事し、1965年のクララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝、ピアニストとして名声を博し、名指揮者のジョージ・セルやヘルベルト・フォン・カラヤンから高く評価された。その一方で指揮者の道を志し、1972年に指揮活動にも乗り出してからは指揮者のほうに軸足を置くようになる。1982年にチューリヒ・トーンハレ管弦楽団の首席指揮者に就任、以後ヒューストン交響楽団、ハンブルク北ドイツ放送交響楽団(現NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団)、バリ管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ワシントン・ナショナル交響楽団の音楽監督や首席指揮者を歴任してきた。2019年からはベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団の首席指揮者を務めている。

N響とは1979年の定期公演にピアニストとして初顔合わせした後、1987年のルービンシュタイン生誕100年・ヤマハ創立100周年記念特別演奏会で指揮者・ピアニストとして共演した。その後2017年に30年ぶりに定期公演で共演、さらに年末の「第9」演奏会の指揮も務めた。コロナ禍直前の2020年1月定期にも登場している。もともとフルトヴェングラーの演奏に感動して指揮者をめざした彼だけに、濃厚な表情付けを施した重厚な音楽作りが特徴で、今回もベートーヴェンの《交響曲第7番》とマーラーの《交響曲第5番》でその本領を発揮してくれることだろう。

[寺西基之／音楽評論家]

スタティス・カラパノス (フルート)



1996年、ギリシャのアテネ生まれ。5歳よりフルートを始め、アテネ国立音楽院で学ぶ。その後、ブルガリア国立音楽院、カールスルーエ音楽大学を経て、現在バリ国立高等音楽院でフィリップ・ベルノルドに師事。複数の国際コンクールで優勝・入賞を果たす。ギリシャ・ユース交響楽団の客演首席奏者、アテネ国立管弦楽団の首席奏者を経験後は、ソリストとして活動し、hr交響楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、エーテボリ交響楽団や、ヴァイオリンのヴィルデ・フラング、バリトンのマティアス・ゲルネ、ピアノのラン・ランほか多数のアーティストと共演。さらには飽くなき探究心から、トラヴェルソ、ピッコロ、アルト、バス、コントラバスの各フルートや、フリー・ジャズ、ハードロックの演奏にも取り組んでいる。

クリストフ・エッセンバッハとは特に深い関係を築き、その指揮で定期的に演奏するほか、彼のピアノでのリサイタルも行っている。N響との初共演となる今回は、信頼厚いマエストロのもとで奏でる王道モーツァルトの協奏曲に、大きな注目が集まる。

[柴田克彦／音楽評論家]

Program Notes | 小宮正安

本日のプログラムを貫くキーワードがある。「祝祭」だ。第1曲目は、タイトル自体が「謝肉祭」。第2曲目のフルート協奏曲は、作曲者の家族の命名祝祭日に初演されたという説がある。第3曲目は、ナポレオンの敗北を祝う演奏会で披露された。しかも3曲ともに、多かれ少なかれ、激動の時代が影響を与えている。新型コロナ感染症拡大や緊迫する世界情勢の中で演奏会の特別性があらためて認識されるという状況の下、祝祭をテーマにした一期一会の響きに身を委ねたい。

ドヴォルザーク

序曲「謝肉祭」作品92

チェコを代表する音楽家として生前から認められていたアントニン・ドヴォルザーク(1841~1904)は、1891年に50歳を迎え、プラハ大学から名誉博士号を授与される。その返礼として書かれたのが、この演奏会用序曲(演奏会で上演されることを目的とした短めの管弦楽曲)だ。

なおこの作品は、同時期に作られた他の演奏会用序曲とともに、やがて序曲三部作《自然と人生と愛》の第2曲目に置かれることとなる。三部作の1曲目は《自然の王国で》、3曲目は《オセロ》。つまり、特に「人生」と密接に結びついているのが、《謝肉祭》である。

ヨーロッパ各地で真冬に繰り広げられ、飲めや歌えの大騒ぎに人々が打ち興じる謝肉祭(カーニバル)。きわめて人間臭い行事であり、この曲も人生の喜びが爆発するかのような祝祭性に溢れている。しかも単なる賑やかさ一辺倒でなく、曲の途中では喧噪の最中に出現した異空間のごとく、穏やかな音楽が広がるのがポイントだ。

この箇所では演奏される旋律だが、《自然の王国で》に出てくるもので、長閑なテンポに基づく6拍子を基本にした形式を特徴としている。実のところこの形式は、19世紀のチェコの教会におけるミサで好んで用いられた楽曲(パストラール)と共通しており、また当時活発化していたチェコの民族運動の背後には、教会の後押しがあった。

つまり、こうは言えないか。自然を愛し、またチェコの民族運動にも共感を寄せていたドヴォルザークは、謝肉祭の祝祭的なエネルギーを音楽を通じて解放し、チェコの尊厳が認められる新たな世界の出現を求めたのだ、と。

作曲年代	1891年
初演	1892年4月28日、プラハにて。作曲者の指揮による国民劇場管弦楽団の演奏
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、タンブリン、トライアングル、シンバル、ハープ1、弦楽

モーツァルト

フルート協奏曲 第1番 ト長調 K. 313

有名であるにもかかわらず、色々と謎の多い作品だ。

よく言われるところでは、故郷ザルツブルクでの宮仕えに嫌気がさしたヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756~1791)が求職旅行をおこなう最中、マンハイムでオランダ人の医師であり音楽愛好家のドゥジャン(1731~1797)からの依頼を受けて書いたというもの。依頼では、フルート協奏曲を3曲、フルートが加わる室内楽曲を数曲ということだったにもかかわらず、モーツァルトは協奏曲を2曲のみ(うち1曲は自作のオーボエ協奏用の転用)、四重奏曲を3曲しか作らなかったため、約束の報酬を受け取れなかった。しかもモーツァルト自身、父親のレオポルト(1719~1787)に宛ててこれら一連の出来事を報告した手紙の中で、フルートが嫌いであると述べているため、内容の美しさからは予想できない裏事情を抱えた曲と伝えられてきた。

だが近年では、異なる見方も出ている。フルート奏者であり音楽学者でもあるヴィーゼ(1971~)によれば、求職旅行に出発する直前のモーツァルトが、ザルツブルクで作り、姉のマリア・アンナ(1751~1829)の命名祝日に初演したというもの。当時モーツァルトが仕えていたザルツブルクの宮廷楽団にはフルート奏者こそいなかったが、幾つもの楽器をこなせる演奏家がいたため、誰かが独奏パートを担当したと考えられる。また曲の内容を見ても、特に優美さを湛え、ゆったりと流れる第2楽章は、当時のザルツブルクで人気のあった曲のスタイルに基づいているとも。逆に求職旅行の最中、マンハイムで恋に落ちたモーツァルトが、この街での滞在を引き延ばすことをレオポルトに認めてもらうべく、嫌々ながらフルート用の曲を書いているためにマンハイムを離れられないかのような虚言を手紙に書いたという説も成り立つ(一方、典雅さを湛えた第1楽章、メヌエット風の第3楽章は、当時ウィーンとの関係を強めつつあったパリの音楽的流行を連想させる)。

いずれにしても、当時発展途上の段階にあったフルートの音域を全て網羅しつつ、独奏者の名人芸に焦点を当てるといよりは、独奏とオーケストラの親密な対話を目指した、室内乐的な響きが耳を引き付ける。これは、異なる存在同士が緊密な対話をおこなってゆくことを通じ、黄昏を迎えていた貴族と、成長を遂げつつある市民が共存するような世界を目指そうという当時流行の思想が、音楽にも反映したものといえよう。だが結局のところ、そうした共存は実現されず、時には暴力をも伴うフランス革命のような出来事の中で、当協奏曲誕生にまつわる貴重な資料の数々も失われてしまった。

作曲年代	1777年あるいは1778年
初演	詳細は不明
楽器編成	フルート2、オーボエ2、ホルン2、弦楽、フルート・ソロ

交響曲 第7番 イ長調 作品92

1811年から1812年にかけて作られ、1813年に初演された、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770~1827)の代表的な1曲だ。1812年といえば、ナポレオン(1769~1821)率いるフランス軍がロシア戦線で敗北を喫し、その後の失脚へつながる事件が起きた年。ベートーヴェンはナポレオンに対し、フランス革命の体現者として一時は熱狂していたものの、ベートーヴェンの本拠地ウィーンを含むヨーロッパ各地への侵略行為が明らかになるにつれ、距離を置くようになっていった。

《交響曲第7番》は、ナポレオン相手の戦闘で傷ついた兵士を援助するべく、さらに彼の度重なる敗北を祝うべく、ウィーンでおこなわれた慈善演奏会で初演された。となると、この曲に漲る爆発的な祝祭感もよく分かる。19世紀半ばに活躍し、ベートーヴェンを敬愛したワーグナー(1813~1883)は、当作品を「舞踏の聖化」と呼んだほど。たしかにワーグナーの指摘の通り、各楽章がダンス音楽のリズムに貫かれている。しかもベートーヴェンその人を、さらには一過性ではあったものの彼同様にナポレオンを崇拜した、新興階級の市民たちが熱狂しそうなものばかりだ。

第1楽章は「ターッタタ」というリズムを中心とした、狩あるいは農民の踊りを彷彿させるリズムが中心となって疾走する。第3楽章は荒ぶる庶民の踊りである急速な3拍子のスケルツォ、第4楽章は市民階級に人気を博したコントルダンス(元々の意味合いは「カントリーダンス」)が基となっている。いずれも、きわめて早いテンポの中に荒ぶるエネルギーが満ち溢れ、これから新たな社会を作ってゆこうとする市民たちにとって、打ってつけの内容だ。

しかも、これらの輝かしい楽章の最中に、悲痛な第2楽章が出現するのが、ベートーヴェンのベートーヴェンたる所以である。何しろ「タータタ・ターター」というリズムは、伝統的舞踊のひとつである「荘重なアルマンド」に欠かせないもの。しかもこのアルマンドは、故人を偲ぶ音楽作品としてバロック時代に流行した「トンボー」(フランス語で「墓碑銘」という意味)に採り入れられることも多かった。つまり、ナポレオンとの戦争に斃れた、さらにはナポレオンによって歪められた革命の精神に殉じた追悼音楽に他ならない。葬送行進曲ではないものの、それと通底する要素を具えているという点で、一時はナポレオンに捧げることも意図された《交響曲第3番「英雄」》の世界をも彷彿させる。

激しく交差する光と影。そこには、ナポレオンをめぐる激動の時代が陰に陽に影響を及ぼしている。

作曲年代	1811~1812年
初演	1813年12月18日、ウィーンにて。作曲者の指揮
楽器編成	フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽

PROGRAM

池袋



第1955回

東京芸術劇場

4/15 **金** 7:30pm

4/16 **土** 2:00pm

指揮

クリストフ・エッセンバッハ | プロフィールはp.19

コンサートマスター

伊藤亮太郎

[開演前の室内楽(池袋Cプログラム限定)]

15日(金)6:45pm~/16日(土)1:15pm~

ヴァイオリン: 伊藤亮太郎、横溝耕一 ヴィオラ: 中村洋乃理 チェロ: 藤村俊介

ウェーベルン/緩徐楽章

※演奏はご自身の座席でお楽しみください。

※演奏中の客席への出入りは自由です。

マーラー

交響曲 第5番 嬰ハ短調 [70']

- I 葬送行進曲: 規則正しい歩みで厳格に、
葬列のように
- II 嵐のように激して、非常に大きな激しさで

- III スケルツォ: 力強く、速すぎずに
- IV アダージェット: きわめてゆっくりと
- V ロンド・フィナーレ: アレグロ

※ この公演に休憩はございません。あらかじめご了承ください。

後援: 豊島区

インターネットアンケートにご協力ください

N響では、今後のよりよい公演の実現に向けて、インターネットでアンケートを行っています。みなさまの貴重なご意見を参考にさせていただきます。ぜひお声をお寄せください。ご協力お願いいたします。

詳しくは43ページをご覧ください



こちらのQRコードから
アンケートページへアクセスできます



<https://www.nhksso.or.jp/enquete.html>

池袋

C

15 & 16, APR, 2022

《第五交響曲》はグスタフ・マーラー（1860～1911）の創作人生のターニングポイントを成す。作曲は主に1901年から1902年にかけて行われたが、これはまさにアルマと知り合い、そして41歳で結婚した時期にあたっている。またウィーン宮廷歌劇場の指揮者として彼の名声も頂点に達していた。《交響曲第4番》までの無際限な幻想の膨張、ロマン派的な青春のさすらいと夢に決別を告げ、純粋器楽による造形性をマーラーが探求し始める嚆矢が、この《交響曲第5番》である。

マーラー

交響曲 第5番 嬰ハ短調

《第4番》までのマーラーの交響曲のモデルはシューベルト的なものだった。フィナーレを目指すドラマティックな構築性ではなく、連作歌曲のようにあちこちに寄り道をしては夢を見る。対するに《第5番》で彼はベートーヴェン的な緊密かつドラマティックな形式へかじを切った。むやみに楽章を増やさず、たとえ5楽章から成るとはいえ、4楽章形式を範とし、声楽も入れない。終楽章の対位法が典型だが、構成の厳格さを探求する。陰鬱な第1・2楽章から喜ばしい第5楽章という「闇から光へ」の構図も、ベートーヴェンのプロットに則っている。第2から第4番の交響曲に絶えず浮き沈みしていた歌曲《こどもの不思議な角笛》の旋律は、もう出てこない。

とはいえ、伝統モデルを意識しているからこそ、《第五交響曲》の形式の変則性はますますあらわになる。全体は3部。葬送行進曲の第1・2楽章がセットで第1部、第2部の第3楽章スケルツォが転換点となり、第4・5楽章がセットで幸せな第3部を作る。異例なのは第1に、スケルツォ楽章が伝統に比してあまりに長大であり、しかも闇が光に反転する楽曲の中心をもってこられている点。第2に、緩徐楽章＝第4楽章が著しく縮小され、しかも交響曲のトーンではなく、メンデルスゾーン《無言歌》のような性格を持つ点。そして第3に、巨大な冒頭楽章＝第1・2楽章に対し、終楽章がベートーヴェン以前、例えばモーツァルトのそのように、軽いロンド・フィナーレになっている点である。

第1部についてマーラー自身は、第1楽章を序奏、第2楽章をソナタ楽章と考えていた。しかしもろもろの動機素材は両楽章で完全に溶かし合わされており、第1楽章で主要テーマが提示され、第2楽章で展開部に入るとみることもできる。2つでセットの巨大なソナタ楽章である。楽器法も異様だ。荒れ狂う葬送行進曲の生々しさは、コンサートホールに軍靴で踏み込むように響いただろう。またスコアにはシンバルを大太鼓に固定し、ひとりの奏者で叩くよう指示があるが、これは実際の行軍の荒々しい響きを、ということだろう。伴奏もなくむき出しの冒頭トランペット・ソロも、同様の効果のためである。

第2楽章の後半からかすかに音楽は明るくなっていく。天から降ってくるような金管コーラルが、絶望の只中に2度ちんにゆう闖入してくる。マーラーにしばしば見られる「突然の天啓」である。そして第3楽章はこれまでの楽想と比べてあまりにのんきなレントラーで始まる。レントラーは「田舎の踊り」の意であり、アルプスの田園風景を連想させる。しかしマーラーのレントラーは悪魔の使者だ。優美なウィンナ・ワルツへ、哀れっぽい旅芸人の俗謡へ(弦のピチカート)、第1部と同じ暴力的な軍靴の行進へと、次々に姿を変える。大指揮者メンゲルベルクはこの楽章を「不自然な陽気さ。苦悩を忘れようとするが、それはまだできず、どこか不自然である」と形容した。そしていきなり悪夢から覚めたかのように、楽章は突然の歓喜で閉じられる。

有名な第4楽章アダージェットはあまりに美しい。そして短い。先行楽章の異様な長さも、暴力的なプラスと打楽器も、すべてこの楽章の「はかなき美」を浮き上がらせる伏線だ。マーラーはこれをアルマへの愛の告白と考えていた。そして曲はこの楽章を序奏として、そのままアタックで終楽章へ入る(ベートーヴェンの《ピアノ・ソナタ「ワルトシュタイン」》にこうした先例がある)。

終楽章に軽やかなロンドを敢えてもってきたことは、「ベートーヴェン以前に戻る」というマーラーの決意表明だ。ベートーヴェン以後、交響曲の終楽章はどんどん重くなっていった。対するに對位法を駆使した壮麗でバロック的なこのフィナーレは、間違いなくモーツァルトの《ジュピター》をモデルにしている(ブラームスも《第2番》でそうした)。先行諸楽章の苦悩は棚上げにされる。コーダで高らかに金管コーラルが鳴り渡る。チロルの山間に点在する美しいオーストリア・バロック教会が連想される。マーラーが作曲を行った夏の別荘もこうした地域にあった。「気の滅入ることを考えるのはもうやめだ、重い「結論」を書くこともやめだ!」といわんばかりの明るいフィナーレ。作曲当時のマーラーはそれほどに幸福だったということであろう。

作曲年代	1901～1902年、オーケストレーションは1903年
初演	1904年10月、ケルン、作曲家自身の指揮
楽器編成	フルート4(ピッコロ4)、オーボエ3(イングリッシュ・ホルン1)、クラリネット3(0クラリネット1、バス・クラリネット1)、ファゴット3(コントラファゴット1)、ホルン6、トランペット4、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、小太鼓、トライアングル、タムタム、グロックンシュピール、ムチ、シンバル、サスペンデッド・シンバル、シンバル付大太鼓、大太鼓、ハープ1、弦楽

N響百年史

第二十七回 芸術のために身を捨てる覚悟とは言うけれど

片山杜秀 — Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK「クラシックの迷宮」のパーソナリティとしてもお馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、時代背景とともにN響の歴史をひもときます。日本交響楽協会の名の下に手を結んだ山田耕筰と近衛秀麿の師弟。多くの音楽家たちを巻き込んで、同床異夢の活動が始まりました。

奏楽堂に鳴り響くベートーヴェン

1925(大正14)年9月20日は日曜日だった。午後2時。上野の東京音楽学校(現東京藝術大学音楽学部)の奏楽堂のステージに、指揮者・近衛秀麿このえひでまるが颯爽さつそうと現れた。「ベートーヴェンの午後」と題されたコンサートの始まりである。奏楽堂というのは、藝大の構内から上野公園内に移築されて今も健在の建物のことだ。

その日、出演したオーケストラは、日本交響楽協会。山田耕筰の率いる楽団として既に存在してきたことにはなっていた。だが、この日の日本交響楽協会は、それまでとは性格を異にしていたと言える。事実上、新しいオーケストラの船出と称してよかった。常連メンバーがいたとはいえ、山田が演奏機会のあるたびに団員を臨時に集めるかたちだった室内管弦楽団程度の日本交響楽協会。近衛が同じやり方をして、ベートーヴェンの交響曲を演奏できるくらいの人数を随時揃えていた近衛シンフォニー・オーケストラ。両者が合体して、いちおうの常設化を果たし、名称については、近衛が師匠の山田の顔を立てて、日本交響楽協会のままとするのが、この日のオーケストラの正体であった。社団法人東京放送局からの毎月まとまった金額の援助や放送番組での演奏出演料が、常設化にあたっての経済的裏付けとなった。その“新楽団”の演奏会でのお披露目が、上野で行われたのだ。

総勢50人以上いたと、聴きに行った作曲家の小松耕輔こうすけが書いている。近衛自身も、多くの楽団員も、東京音楽学校の出身ではなかった。上野こそ日本における西洋音楽の正統とみる立場からは、山田はともかく、近衛らは新興の在野派と目されていた。そんな彼らが、や

はり新興勢力の放送局を援軍にして上野に攻め上り、日本の音楽界に派手な挑戦状を叩きつけたコンサートだった。そう考えてもよい。

オーケストラの親玉の立場である山田は、演奏会前日の『時事新報』に宣伝文を寄せた。当節の日本人のベートーヴェン観は、あまりにも偏っている。人々は「寂しい環境が齎した彼の偏狭さ、耳の疾患が招いた彼の懊悩、それらが彼の作品にかざしてある暗い陰影」のことはかりをかの楽聖に追い求めている。でも、それはあくまで作曲家の半面に過ぎない。ベートーヴェンはメトロノームの「直の運動」を模倣して《交響曲第8番》のスケルツォ楽章を書いてしまうようなアイデアの持ち主であり、その音楽には「諧謔があり、快活さがあり、そしていい意味に於いての単純さがある」。そんな明るく楽しいベートーヴェン像を再認識してもらうために、《交響曲第6番「田園」》、《ピアノ協奏曲第5番「皇帝」》、《歌劇「レオノーレ」序曲第3番》というプログラムをもって、新しいオーケストラの希望の旅立ちにしたい。山田のマニフェストであった。

という、いかにも山田の思いついた曲目のようだが、プログラミングをし、楽譜を揃えたのは指揮者の近衛だったろう。近衛は1924(大正13)年9月の帰朝演奏会ではベートーヴェンの《交響曲第4番》を、1925年の4月から5月にかけての日露交驩(交歓)管絃楽演奏会では《交響曲第5番》と《第7番》を、7月の東京放送局本放送開始記念番組ではやはり《第5番》を振り、いずれも好評を博していた。ベートーヴェンのみならず、指揮者としての全般的な能力も山田よりも近衛のほうが上ではないか。山田もそういう世間の評価を無視できない。はっきり言うと、山田よりも近衛のほうが集客できる。ゆえに、オーケストラの大切なお披露目演奏会は、オール・ベートーヴェン・プロで近

衛の指揮となった。そもそも、新しい楽団の正式メンバーにも、音楽的には山田よりも近衛について行こうとする者のほうが多かった。職業的オーケストラとしての日本交響楽協会は、山田と放送局との深い関係なくして誕生し得なかったろうけれど、音楽的には最初から近衛主導だったかと思われる。

生活か芸術か——宮田清蔵の場合

さて、具体的な団員の構成のことだ。日露交驩管絃楽演奏会のために臨時に組織された日露混成オーケストラの日本側メンバーが、常設交響楽団の設立へと希望を燃え立たせ、日本交響楽協会から新交響楽団に至る筋道が敷かれたというのが歴史のこれまでの王道的な語り方で、むしろそれは基本的には正しい。しかし、日露交驩管絃楽演奏会の参加演奏家がスムーズに横滑りしていたのかというと、必ずしもそうではない。日露交驩管絃楽演奏会のプログラム冊子のメンバー表に掲載された日本人楽員は39名。一方、1926(大正15)年の日本交響楽協会の正団員表に載っているのは46名。では、このうちダブっているメンバーはというと、以下の人々になる。

第1ヴァイオリンの前田璣と加藤藤一、第2ヴァイオリンの田辺千次と安藤福太郎、ヴィオラの中村鉦次郎、チェロの松原与輔、コントラバスの寺尾誠一と紙恭輔、フルートの岡村雅雄と宮田清蔵、オーボエの阿部万次郎、クラリネットの辻井富造、ホルンの近衛直麿、トランペットの佐伯憲二、ハープの郡司昌雄、打楽器の仁木他喜雄と大津三郎。合わせて17人。つまり、日露交驩管絃楽演奏会に参加して、常設交響楽団への夢を膨らませたという人々

のうち、過半の22人はいない。最初から加わらなかったか、入ってもすぐやめたか、そのどちらかだろう。そして日本交響楽協会の46人のうちの29人は日露交響管絃楽演奏会のステージには乗っていなかった演奏家となる。腕前のせいでメンバーが選抜されていった果てに自ずとそうなって新顔が増えた。そういう観察も可能だろう。だが、日露交響管絃楽演奏会のときは参加した優れた腕前のメンバーが、雇用条件、特に収入のことを考えて、正団員にはついに加わらなかったというケースも多々あったろう。

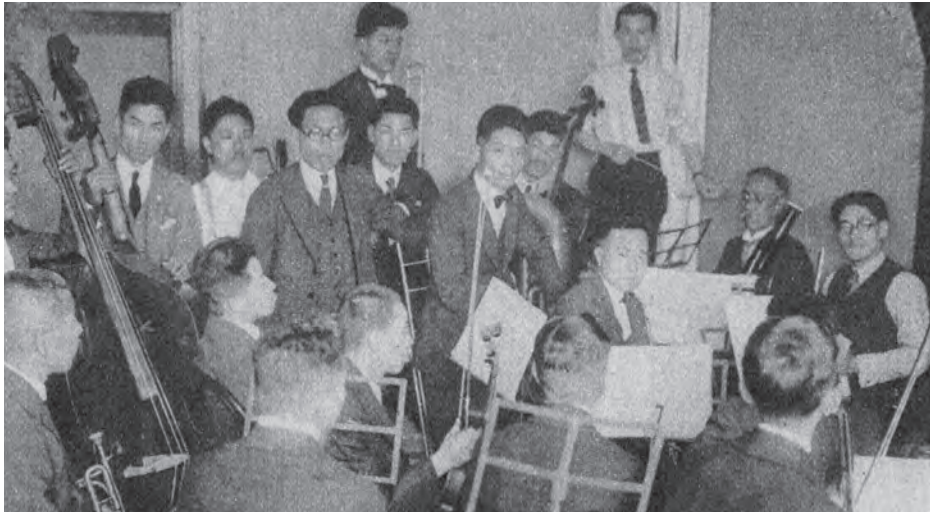
日露交響管絃楽演奏会に出演し、日本交響楽協会から新交響楽団へと楽歴を辿ったフルート奏者、宮田清蔵は、その頃の^{たど}ことを、作曲家、大森盛太郎^{せい たろう}の問いに答え、こう回顧している。「帝国ホテルの^{はたの}波多野オーケストラで演奏をしていたが、交響楽の演奏に魅力があって、波多野^{えいじろう}鏠次郎さんに話をしたところ、波多野さんは『あなたには最高給を支払っているのに何でやめるのか』と言われたが、結局退団させてもらい、日本交響楽協会に入ったのです」

波多野鏠次郎率いるハタノ・オーケストラは、帝国ホテルのレストランを主たる活動の場にしてきた。1920年代は欧米でも日本でも社交の場にダンス・オーケストラやサロン・オーケストラが大活躍した時代で、高級ホテル等の一流の場所に常時出演する人気楽士は大企業の重役並みの高収入を得ていた。ハタノ・オーケストラは10人程度の楽団で、リーダーの波多野はヴァイオリニスト。実は彼も日露交響管絃楽演奏会の出演者であったのだが、日本交響楽協会に一演奏家として参加しはしなかった。何しろ、小なりとはいえ、自らの姓を冠した有名楽団を持つ、一国一城の主である。帝

国ホテルでの仕事を続けていたほうが、収入もよく、楽しく、生活も安定するに決まっている。

宮田はというと、この楽団で、やはり楽しくやっていた。でも、演奏家として本格的なレパートリーへの^{あこが}憧れをどうしても拭えなかった。ハタノ・オーケストラで宮田のもらっていた「最高給」とは230円。これはもう富裕層の月収である。すると日本交響楽協会での待遇は？ 宮田の記憶によると80円から90円くらいだった。約3分の1に減少。それでも宮田は日本交響楽協会内ではよい待遇を受けていた部類だったようである。もっと低額の給金しかもらえぬ楽員も多くいたらしい。とにかく新入社員並みか、それ以下の月給だ。生活はできる程度の金額ではあるけれど、ホテルやレストラン、あるいは無声映画館で演奏していたほうが、上手なプレイヤーならはるかに^{かせ}稼げた。

そんななか、山田と近衛のもとに、たとえば波多野は^は馳せ参せず、宮田は駆けつけた。音楽に何を求めたかの違いと言うは^{やす}易いが、そんなきれいごとではむろん済まない。音楽家はみな、生活者なのだ。だいたい大正期の日本で職業的オーケストラはそれまで必ず潰れてきた。今度はだいぶん様相が違うとはいえ、長続きする保証があるとは言い切れない。放送局がバックにいるといっても、常設オーケストラとしてかろうじてやっていけるかどうかというところなのだ。ギャランティで釣って当時の日本の一流のメンバーを集めるなんて話からはほど遠い。生活水準を落としても、芸術のために身を捨ててくれますか。楽員の心意気だけが頼り。そんな世界の物語なのである。それでもやるのか、やらないのか。各人各様のギリギリのドラマがあった。山田と近衛には、献身を誓ってくれた専従楽団員たちの暮らしを成り立たしめる大きな責任が生じた。



日本交響楽協会の音楽家たち。管弦楽レコード「モリスダンス」の雑誌広告より(1925年8月) | 提供: ジャパンアーカイブス

突破口は「定期演奏会」

とりあえず、9月20日の「ベートーヴェンの午後」は成功裏に終わった。近衛は演奏に満足し、希望に満ちた手紙をドイツの友人に書き送った。今度のオーケストラは日本でついに大輪^{はな}の華を開かせるかもしれない。それから、日本交響楽協会は、東京放送局の事実上の専属交響楽団として月に8回程度、スタジオからの生演奏番組に出演し、その合間に、月に1度のペースでコンサートを開き、1925(大正14)年の秋冬を過ごした。10月と12月には山田、11月には近衛が、公開演奏会を指揮した。とりわけ11月28日の近衛の回は意欲的なプログラムだった。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を振ったコンサートで、カリンニコフの《交響第1番》をメイン・プログラムとした近衛である。ロシア音楽も得意だ。11月はそのに集

中した。ボロディンの《歌劇「イーゴリ公」序曲》、ムソルグスキーの《交響詩「はげ山の一夜」》、ニコライ・チャレプニンの《バレエ音楽「アルミードの館」》などを指揮した。

日本交響楽協会の立ち上がりは順調と言えれば順調だ。が、放送局との関わりから得られる最低限と言ってよい収入と、外れればすぐ大赤字になるだろう単発の演奏会の綱渡りの開催の繰り返しでは、オーケストラの発展も、楽員の生活の安定もおぼつかない。山田は1925(大正14)年12月12日、読売新聞に次のような文章を発表した。

「交響楽の団体を経営して行くことは、ヨーロッパではもちろんのこと、お金の^{たくさん}沢山あるアメリカでも困難なこととされてゐる。私が実際に歩いてみた経験からいつても、特別のパトロンなしに独立してやつて行ける交響管絃楽団は先づ欧米を通じて^{ほん}殆ど皆無なやうに思はれる。それほど難しい仕事をこの財的に貧弱な

日本でやつて行かうといふのだから」そもそも無理がある。

そして本題に入る。「私だつてパトロンは欲しい。黙つて十分なお金を出してくれて、こちらの思ふやうに仕事をさして呉れるのなら、これほど有難いことはない。しかし却々さうはうまく問屋が卸さならしい。よしまた資本を下ろして呉れる人があつても、さういつた場合にはとかく色々なむづかしい条件が附く。従つて本当の交響楽の仕事が出来なくなる」

ならばどうすればいいというのか。パトロンの言いなりになるくらいなら「苦しくとも自前で、他から何等の補助をして貰はずに、音楽者と熱心な聴衆の力だけで、この団体の仕事を継続して行かう」。そのための具体策は？ 山田はぶち上げる。定期予約演奏会会員募集！

この論法には一種の詐術がある。日本交響楽協会には、東京放送局、後の日本放送協会というパトロンが最初からついていたのだから。ゆえにコンサート活動も始められた。でも、スポンサーとしては十全でないことは確かだ。いつもギリギリの運営を迫られる。そこで放送局に、定期会員という言葉で固定的聴衆ないしサポーターを加え、2本足でしっかり立てるようにせねばならない。放送局からの毎月の援助

に加え、1000人の定期会員を獲得して、A席の会員が毎月5円、B席の会員が毎月3円で、4000円くらいの安定したチケット収入を確保できれば、楽員全員に平均的サラリーマンの暮らしを与えることは可能になるはず。山田らはそう算盤をはじき、1926(大正15)年1月から会員予約制の定期演奏会の開催をぶち上げた。これで安定軌道へ！ そう山田は信じたろう。

だが山田の考える、音楽家が芸術のために献身する苦しい生活と、楽団員の許容できる苦しさのイメージに、どうやら齟齬があった。失敗しては夜逃げをするのも当たり前と、それまでの自身の経験のせいから思えてしまえる山田と、より健全な生活者の感覚を有する楽員たちは、同じ床で異なる夢を見ていた。日本交響楽協会の分裂と、もともと多数派である近衛派の自立のドラマがここに始まる。

文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』『尊皇攘夷』ほか著書多数。

次回予告

いったんは手を結んだ山田耕筰・近衛秀麿師弟でしたが、ついに決裂。日本交響楽協会から近衛派が独立し、「新交響楽団」が誕生します。

2022年5月定期公演の聴きどころ

公演企画担当者から

「東京・春・音楽祭」でもおなじみのマレク・ヤノフスキ、次期首席指揮者のファビオ・ルイーダ。N響と結びつきの強い2人は、オーケストラを巧みに操り、思い通りの音楽を導き出すことに長けた“現代の名匠”である。ドイツ音楽を中心に、古典の構成美や多彩な音色のパレットを存分に味わって頂きたい。

33年を経てN響と再び挑む ヤノフスキのシューベルト《第8番》

[池袋Aプログラム]のアリョーナ・バーエワは、かつて弾いた伸びやかで思い切りのよいR. シュトラウスが印象的で、それ以来、再び招聘したいソリストのひとりだった。ヤノフスキの快諾を得て、3年ぶりの登場となる。

シューマン《ヴァイオリン協奏曲ニ短調》は、長くその存在が忘れ去られ、1937年になってようやく日の目を見た。近年名手たちが盛んに演奏するようになったが、バーエワの明晰にしてダイナミックな表現も、作品解釈の新たな分野を切り開くものとなりそうだ。

同様に作曲家の死から10年後にシューマンが発見し、その「神々しいまでの長さ」を称えたシューベルト《交響曲第8番「ザ・グレート」》。ヤノフスキは33年前にもN響とこの曲を演奏している。当時の端正なアプローチは、時を経てどのように熟成するのだろうか。

両曲とも、N響の前身である新交響楽団が設立後間もない時期に日本初演しており、我々にとって縁の深いレパートリーである。

“海”をモチーフとした傑作の数々を ルイーダのタクトで堪能する

[Bプログラム]は“海”や“水”が共通テーマ。生命の源である“海”は、さまざまな芸術作品にインスピレーションを与える「創作の源」でもあった。今年は沖縄の本土復帰から50年、直後には同じ曲目による沖縄公演が予定されている。

メンデルスゾーン《静かな海と楽しい航海》は、ゲーテの詩に基づく。死の静寂を伴う風から一転、風が吹いて船を進めることのでき

る水夫たちの浮き立つ様子が描写される。
“音の風景画家”と呼ばれる作曲家の面目躍
如たる佳品である。

ラヴェルは《水の戯れ》《海原の小舟》など、
水のイメージに関わる作品を数々残している
が、流麗な旋律の流れは《ピアノ協奏曲》にも
聴き取れる。ソリストは“水”を主題にしたリサ
イタルを企画したこともある小菅優。

“海”と言えば、ルイーゼ得意のリムスキー・
コルサコフ《シェエラザード》。オーケストレー
ションの名人が描く大海原の情景に身を委
ねたい。

ルイーゼが丹念に磨き込む ウィーン古典派の名品

[池袋Cプログラム]のモーツァルト《歌劇
「ドン・ジョヴァンニ」序曲》と《ピアノ協奏曲第
20番》は、共に悲劇性と絶望的な死への予
感をほらんだ二短調で書かれている。同時代

の常識を打ち破る独創性は、ロマン派への扉
を開くものだった。

協奏曲のソリストはロシア出身のアレクサン
ドル・メルニコフ。伝統的な演奏スタイルを尊
重し研究しながら、既存の型から果敢に踏み
出そうとするメルニコフのチャレンジ精神を、
ルイーゼは高く評価する。

ベートーヴェンはモーツァルトの《第20番》
を好んで弾いたと言われ、この曲に優れたカ
デンツァを残している。二短調の平行調、へ
長調を主調とする《交響曲第8番》は打って変
わって愉悦に満ちた作品。傑作群の谷間に
咲いた小曲と見られがちだが、ルイーゼは《英
雄》でも《運命》でも《第9》でもなく、この《第8
番》を「ベートーヴェンの最上の交響曲」と呼
ぶ。彼によれば「シンプルな書法で、完全な古
典的統一を達成した真の名曲」なのだ。

[西川彰一／NHK交響楽団演奏制作部長]

※ mélomane：フランス語で「音楽愛好家」の意

池袋
A
5/14 土 6:00pm
5/15 日 2:00pm
東京芸術劇場

シューマン／ヴァイオリン協奏曲 二短調
シューベルト／交響曲 第8番 八長調 D. 944
「ザ・グレート」

指揮：マレク・ヤノフスキ
ヴァイオリン：アリョーナ・パーエワ



池袋
B
5/25 水 7:00pm
5/26 木 7:00pm
サントリーホール

メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27
ラヴェル／ピアノ協奏曲 ト長調
リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェエラザード」作品35

指揮：ファビオ・ルイーゼ
ピアノ：小菅 優



池袋
C
5/20 金 7:30pm
5/21 土 2:00pm
東京芸術劇場

モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
モーツァルト／ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466
ベートーヴェン／交響曲 第8番 へ長調 作品93

指揮：ファビオ・ルイーゼ
ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ



チケットのご案内(定期公演 2021年9月~2022年6月)

1回券

公演ごとにチケットをお買い求めいただけます。料金は公演によって異なります。各公演の情報をご覧ください。

発売開始日	4月	発売中
[11:00amからの受付]	5-6月	4月7月[木](定期会員先行)/4月13日[水](一般)

定期会員券

毎回同じ座席をご用意。1回券と比べて1公演あたり10~30%お得です!(割引率は公演や券種によって異なります)

- ※ Aプログラム、CプログラムはNHKホール改修工事に伴い、会場をNHKホールから東京芸術劇場(池袋)に移して「池袋Aプログラム」「池袋Cプログラム」として行います
- ※ Bプログラムはサントリーホール改修工事に伴い、2022年4月公演を休止するため全8回となります。シーズン会員券の販売はございません
- ※ 池袋Cプログラムは2021-22シーズンから会員券の料金を変更させていただきます

発売開始日	年間会員券	販売終了
[11:00amからの受付]	シーズン会員券(Autumn / Winter)	販売終了
	シーズン会員券(Spring)	発売中

料金(税込)

券種	S	A	B	C	D	D(コースチケット)
年間会員券(9回) [池袋A]	¥65,970 (¥7,330)	¥56,610 (¥6,290)	¥44,010 (¥4,890)	¥35,730 (¥3,970)	¥27,540 (¥3,060)	¥9,000 (¥1,000)
年間会員券(8回) [B]	¥58,640 (¥7,330)	¥50,320 (¥6,290)	¥39,120 (¥4,890)	¥31,760 (¥3,970)	¥24,480 (¥3,060)	¥8,000 (¥1,000)
年間会員券(9回) [池袋C]	¥56,610 (¥6,290)	¥49,725 (¥5,525)	¥39,780 (¥4,420)	¥32,130 (¥3,570)	¥24,480 (¥2,720)	¥8,820 (¥980)

券種	S	A	B	C	D	D(コースチケット)
シーズン会員券(3回) [池袋A]	¥23,820 (¥7,940)	¥19,860 (¥6,620)	¥15,570 (¥5,190)	¥12,540 (¥4,180)	¥9,480 (¥3,160)	¥3,900 (¥1,300)
シーズン会員券(3回) [池袋C]	¥19,890 (¥6,630)	¥17,520 (¥5,840)	¥14,010 (¥4,670)	¥11,250 (¥3,750)	¥8,550 (¥2,850)	¥3,780 (¥1,260)

※()内は1公演あたりの単価

WEBセレクト3+

Autumn(9~11月)、Winter(12~2月)、Spring(4~6月)の各シーズン内の公演(9プログラム18公演)のうち、3公演以上まとめて購入すると、1回券の一般料金より約8%割引いたします。座席・券種は自由にお選びいただけます。なお、SPRINGシーズンは4月が単独で

の販売となったことから5月・6月の2か月(6プログラム12公演)を対象として実施いたします。

- ※ お取り扱いはWEBチケットN響のみとなります
- ※ 上記の1回券一般発売日からご利用いただけます
- ※ 割引の併用はできません
- ※ 定期会員の方は1回券の会員割引(約10%割引)をご利用ください

コースチケット

25歳以下の方へのお得なチケットです。1回券と定期会員券(D席)でご利用いただけます。料金は各公演の情報をご覧ください。

- ※ N響が代りのみの販売となります
- ※ 25歳以下の証明となるものをご提示いただけます

お問い合わせ

N響ガイド | TEL 03-5793-8161

営業時間: 11:00am ~ 5:00pm
定休日: 土・日・祝日、定期公演池袋Aプログラムの翌月曜

- 主催公演開催日は曜日に関わらず11:00am~開演時刻まで営業
- 発売初日の土・日・祝日は11:00am~3:00pmの営業
- 感染症予防対策のため電話受付のみの営業

WEBチケットN響(手数料無料) <https://ticket.nhkso.or.jp>

※やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。公演中止の場合をのぞき、チケット代金の払い戻しはいたしません

Please follow us on     

2021-22定期公演プログラム

2022 04	池袋 A	第1954回 4/9(土) 6:00pm 4/10(日) 2:00pm	ドイツ最高峰の巨匠と紡ぐベートーヴェンの「舞踏交響曲」 ドヴォルザーク／序曲「謝肉祭」作品92 モーツァルト／フルート協奏曲 第1番ト長調 K. 313 ベートーヴェン／交響曲 第7番 イ長調 作品92	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：クリストフ・エッセンバッハ フルート：スタティス・カラバノス	
	B		サントリーホールでの改修工事にもない、4月定期公演Bプログラムの開催を休止します。	
	池袋 C	第1955回 4/15(金) 7:30pm 4/16(土) 2:00pm	孤高の巨匠が迫るマーラーの本質——エッセンバッハの《交響曲第5番》 マーラー／交響曲 第5番 嬰ハ短調	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：クリストフ・エッセンバッハ	
2022 05	池袋 A	第1956回 5/14(土) 6:00pm 5/15(日) 2:00pm	こだわりの名匠と一から再構築するシューベルトの巨大な音楽遺産 シューマン／ヴァイオリン協奏曲 二短調 シューベルト／交響曲 第8番 ハ長調 D. 944「ザ・グレート」	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：マレク・ヤノフスキ ヴァイオリン：アリョーナ・パーエフ	
	B	第1958回 5/25(水) 7:00pm 5/26(木) 7:00pm	名キャプテン・ルイージと大海原を音楽で航海する メンデルスゾーン／序曲「静かな海と楽しい航海」作品27 ラヴェル／ピアノ協奏曲ト長調 リムスキー・コルサコフ／交響組曲「シェラザード」作品35	一般 ユース S ¥9,800 S ¥5,800 A ¥8,400 A ¥4,800 B ¥6,700 B ¥3,800 C ¥5,400 C ¥2,800 D ¥4,400 D ¥1,800
		サントリーホール	指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：小菅 優	
	池袋 C	第1957回 5/20(金) 7:30pm 5/21(土) 2:00pm	ルイージと丹念に磨き込むウィーン古典派の名品 モーツァルト／歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 モーツァルト／ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466 ベートーヴェン／交響曲 第8番 へ長調 作品93	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：ファビオ・ルイージ ピアノ：アレクサンドル・メルニコフ	
2022 06	池袋 A	第1959回 6/11(土) 6:00pm 6/12(日) 2:00pm	フランス音楽と文学の幸せなマリージュ その耽美的な世界に身を委ねる デュカス／バレエ音楽「ペリ」(ファンファーレつき) ラヴェル／シェラザード* ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲 フロラン・シュミット／バレエ組曲「サロメの悲劇」作品50	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ メゾ・ソプラノ：ステファニー・ドゥストラック*	
	B	第1961回 6/22(水) 7:00pm 6/23(木) 7:00pm	しなやかに、颯爽と！ 鈴木優人のモーツァルト(ジュピター) バッハ(鈴木優人編)／パッサカリアとフーガ 八短調 BWV582 ブリテン／ヴァイオリン協奏曲 作品15 モーツァルト／交響曲 第41番 八長調 K. 551「ジュピター」	一般 ユース S ¥8,900 S ¥5,500 A ¥7,400 A ¥4,500 B ¥5,800 B ¥3,500 C ¥4,700 C ¥2,500 D ¥3,700 D ¥1,500
		サントリーホール	指揮：鈴木優人 ヴァイオリン：郷古 廉	
	池袋 C	第1960回 6/17(金) 7:30pm 6/18(土) 2:00pm	仏米2人の作曲家が伝える1920～30年代 パリの息吹 ブーランク／バレエ組曲「牝鹿」 ブーランク／オルガン協奏曲ト短調 ガーシュウィン／パリのアメリカ人	一般 ユース S ¥7,400 S ¥4,500 A ¥6,500 A ¥4,000 B ¥5,200 B ¥3,000 C ¥4,200 C ¥2,000 D ¥3,200 D ¥1,400
		東京芸術劇場 コンサートホール	指揮：ステファヌ・ドゥネーヴ オルガン：オリヴィエ・ラトリー	(料金はすべて税込)

*やむを得ない理由で出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

各地の公演

4/26^火 7:00pm | **マリア・ドゥエニャス&N響スペシャルコンサート**

～メニューイン国際コンクール優勝記念～

東京芸術劇場 コンサートホール

指揮:山田和樹 ヴァイオリン:マリア・ドゥエニャス
ラヴェル/チガヌ
ファリャ/バレエ組曲「三角帽子」第1番、第2番
ヴェルディ/歌劇「運命の力」序曲
パガニーニ/ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 作品6

主催:日本音楽財団 共催:NHK交響楽団/認定NPO法人マギーズ東京
お問合せ:認定NPO法人マギーズ東京チャリティーコンサート事務局 TEL (03) 6261-7665

5/3^{火祝} 3:30pm | **N響ゴールデン・クラシック 2022**

東京文化会館 大ホール

指揮:高関 健 ヴァイオリン:周防亮介
チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
チャイコフスキー/交響曲 第5番 ホ短調 作品64

主催:MIYAZAWA & Co. お問合せ:サンライズプロモーション東京 TEL (0570) 00-3337

5/4^{水祝} 4:00pm | **軽井沢大賀ホール 2022春の音楽祭**

軽井沢大賀ホール

出演者・曲目は5月3日と同じ

主催:軽井沢町/(公財)軽井沢大賀ホール お問合せ:軽井沢大賀ホール TEL (0267) 42-0055

5/29^日 5:00pm | **沖縄 本土復帰50年 NHK交響楽団演奏会 沖縄公演**

沖縄コンベンションセンター 劇場棟

指揮:ファビオ・ルイーヂ ピアノ:小菅 優
メンデルスゾーン/序曲「静かな海と楽しい航海」作品27
ラヴェル/ピアノ協奏曲 二長調
リムスキー・コルサコフ/交響組曲「シェエラザード」作品35

主催:NHK沖縄放送局/NHK交響楽団 お問合せ:ハローダイヤル TEL (050) 5542-8600

6/4日 4:00pm | N響ベストクラシックス 秋山和慶×荒井里桜×NHK交響楽団

かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール

指揮:秋山和慶 ヴァイオリン:荒井里桜
ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲 第1番ト短調 作品26
ブラームス/交響曲 第1番 ハ短調 作品68

主催:葛飾区文化施設指定管理者 お問い合わせ:かつしかシンフォニーヒルズ TEL (03) 5670-2233

6/5日 3:00pm | 第24回 NHK交響楽団足利定期公演

足利市民プラザ・文化ホール

出演者・曲目は6月4日と同じ

主催:(公財)足利市みどり文化・スポーツ財団/足利市教育委員会/下野新聞社 お問い合わせ:足利市民プラザ TEL (0284) 72-8511

6/26日 2:00pm | N響×鈴木優人 at 調布国際音楽祭2022

調布市グリーンホール 大ホール

指揮:鈴木優人 ヴァイオリン:郷古 廉
バッハ(鈴木優人編)/パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
モーツァルト/交響曲 第41番 ハ長調 K. 551「ジュピター」

主催:(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団/調布市 お問い合わせ:(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団 チケット CHOFU TEL (042) 481-7222

オーチャード定期

Bunkamura オーチャードホール

5/8日 3:30pm

指揮:マレク・ヤノフスキ
ベートーヴェン/「エグモント」序曲
ベートーヴェン/交響曲 第1番 ハ長調 作品21
ベートーヴェン/交響曲 第5番 ハ短調 作品67

7/9日 3:30pm

指揮:沖澤のどか フルート:エマニュエル・バユ*
プーランク/バレエ組曲「牝鹿」
プーランク(バークリー編)/フルート・ソナタ(管弦楽伴奏版)*
フォーレ(オーベール編)/幻想曲 作品79*
ラヴェル/組曲「マ・メール・ロフ」
ラヴェル/ボレロ

主催・お問い合わせ:Bunkamura TEL (03) 3477-3244

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ
名誉音楽監督：シャルル・デュトワ
桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット
桂冠指揮者：ウラディーミル・アシュケネージ
正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀
コンサートマスター：伊藤亮太郎
ゲスト・コンサートマスター：白井 圭
ゲスト・アシスタント・コンサートマスター：郷古 廉

第1ヴァイオリン

青木 調
宇根京子
大鹿由希
□倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○山岸 努
○横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大宮臨太郎
☆森田昌弘
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦
矢津将也
山田慶一
横山俊朗

米田有花

村尾隆人

ヴィオラ

◎佐々木 亮
◎村上淳一郎
☆中村翔太郎
小野 聡
小島茂隆
□坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村洋乃理
松井直之
三国レイチェル由依
#御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

◎辻本 玲
◎藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂拓志
村井 将
○山内俊輔
渡邊方子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稲川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真歩
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
石山直城
勝保 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハーブ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
黒川大亮

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田淳一
株式会社 みずほ銀行	頭取 加藤勝彦
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 井上慎一
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ SCSK(株) 執行役員 社長 最高執行責任者 富麻隆昭
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ (株)NHK アート 代表取締役社長 小野木昌史
・ (株)アイシン 取締役社長 吉田守孝	・ (株)井口一世 代表取締役 井口一世	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 黄木紀之
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 山田哲生
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼 CEO 勝木敦志	・ 伊東国際特許事務所 所長 伊東忠重	・ (株)NHK エデュケーショナル 代表取締役社長 田波宏視
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 黄木紀之
・ 朝日信用金庫 理事長 伊藤康博	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 松本浩司
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ (株)ウイングツァー 代表取締役 福田健二	・ (学)NHK 学園 理事長 篠原朋子
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史	・ SMBC 日興証券(株) 代表取締役会長 川崎靖之	・ (株)NHK グローバルメディアサービス 代表取締役社長 根本拓也

- ・(一財)NHK サービスセンター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 土井成紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ
代表取締役社長 | 野口周一
- ・(株)NHK ビジネスクリエイティブ
代表取締役社長 | 石原 勉
- ・(株)NHK プロモーション
代表取締役社長 | 大美慶昌
- ・(株)NHK文化センター
代表取締役社長 | 田中剛志
- ・(一財)NHK放送研修センター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファシリティーズ
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・ENEOS ホールディングス(株)
代表取締役社長 社長執行役員
齊藤 猛
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・岡山英世
- ・沖電気工業(株)
社長執行役員兼最高執行責任者
森 孝廣
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員
長谷部佳宏
- ・カンオ計算機(株)
代表取締役社長 | 樫尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 天野裕正
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役社長 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 | 仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名誉会長 | 茂木友三郎
- ・(株)CURIOUS PRODUCTIONS
代表取締役 | 黒川幸太郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役専務 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・黒澤隆史
- ・京王電鉄(株)
代表取締役社長 社長執行役員
紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 川俣幸宏
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)コーポレートディレクション
代表取締役 | 石井光太郎
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田佳佑
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・(株)ジェイ・ウィル・コーポレーション
代表取締役 | 佐藤雅典
- ・JCOM(株)
代表取締役社長 | 岩木陽一
- ・(株)シグマクス・ホールディングス
代表取締役社長 | 富村隆一
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)集英社
代表取締役社長 | 廣野真一
- ・(株)小学館
代表取締役社長 | 相賀昌宏
- ・(株)商工組合中央金庫
代表取締役社長 | 関根正裕
- ・庄司勇次朗・恵子
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ
代表取締役 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
院長 | 松木隆史
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパー・JSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループ CEO
兼グループ CCO | 服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純

- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男
- ・関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫
- ・(株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO | 村松俊亮
- ・損害保険ジャパン(株)
代表取締役社長 | 白川儀一
- ・第一三共(株)
代表取締役社長 | 眞鍋 淳
- ・ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・大日コーポレーション(株)
代表取締役社長兼グループCEO
鈴木忠明
- ・高砂熟学工業(株)
代表取締役社長 | 小島和人
- ・(株)ダク
代表取締役 | 福田浩二
- ・(株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・田中貴金属工業(株)
代表取締役社長執行役員
田中浩一朗
- ・田原 昇
- ・チャンネル銀河(株)
代表取締役社長 | 住田和嘉子
- ・中央日本土地建物グループ(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・中外製薬(株)
代表取締役社長 | 奥田 修
- ・(株)電通
代表取締役社長執行役員 | 樽谷典洋
- ・(株)テンポプリモ
代表取締役 | 中村聡武
- ・(株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鶴田勝彦
- ・東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・(株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・東京海上日動火災保険(株)
取締役社長 | 広瀬伸一
- ・(株)東京交通会館
取締役社長 | 興野敦郎
- ・東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・桐朋学園大学
学長 | 辰巳明子
- ・東邦ホールディングス(株)
代表取締役 | 有働 敦
- ・(株)東北新社
代表取締役社長 | 中島信也
- ・(一財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 金子眞吾
- ・トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・内外施設工業グループホールディングス(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・中銀グループ
代表 | 渡辺蔵人
- ・中山武之
- ・日鉄興和不動産(株)
代表取締役社長 | 今泉泰彦
- ・日東紡績(株)
取締役 代表取締役社長 | 辻 裕一
- ・日本ガイシ(株)
取締役社長 | 小林 茂
- ・(株)日本国際放送
代表取締役社長 | 高尾 潤
- ・日本通運(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・日本電気(株)
代表取締役執行役員社長 | 森田隆之
- ・(一財)日本放送協会共済会
理事長 | 谷弘聡史
- ・日本郵政(株)
取締役兼代表取締役社長 | 増田寛也
- ・(株)ニフコ
代表取締役社長 | 柴尾雅春
- ・(株)日本デジコム
代表取締役 | 竹井裕二
- ・野村ホールディングス(株)
代表執行役社長 | 奥田健太郎
- ・パナソニックホールディングス(株)
代表取締役 社長執行役員 グループCEO
楠見雄規
- ・(有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・(株)日立製作所
執行役社長 | 小島啓二
- ・(株)フォトロン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・福田三千男
- ・富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博亨
- ・古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・(株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・(株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・(公)放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ホクト(株)
代表取締役 | 水野雅義
- ・前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・町田優子
- ・丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・三井住友海上火災保険(株)
代表取締役 | 船曳真一郎
- ・(株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・三井住友信託銀行(株)
取締役社長 | 大山一也

- ・三菱商事(株)
社長 | 中西勝也
 - ・三菱電機(株)
執行役社長 | 漆間 啓
 - ・(株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘
 - ・三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
 - ・三原穂積
 - ・(学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬
 - ・(株)明治
代表取締役社長 | 松田克也
 - ・(株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健
 - ・(株)目の眼
代表 | 櫻井 恵
 - ・(株)モメンタム ジャパン
代表取締役社長 | 三溝広志
 - ・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾
 - ・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔
 - ・矢下茂雄
 - ・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸
 - ・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦
 - ・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人
 - ・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄
 - ・米澤文彦
 - ・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 菊地英之
 - ・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆
 - ・料亭 三長
代表 | 高橋千善
 - ・(株)リンレイ
代表取締役社長 | 鈴木信也
 - ・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二
 - ・ルーム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功
 - ・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次
- (五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『第9演演奏会プログラム』等にご芳名を記載させていただきます。

N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望される方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL: 03-5793-8120

曲目解説執筆者

岡田暁生 (おかだ あけお)

京都大学人文科学研究所教授。専門は19世紀から20世紀初頭の西洋音楽。著書に『音楽の危機——《第九》が歌えなくなった日』『音楽と出会う——21世紀的つきあい方』『西洋音楽史』『リヒャルト・シュトラウス』(作曲家・人と作品シリーズ)など、共著書に『すごいジャズには理由がある』など。

小宮正安 (こみや まさやす)

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授。専門はヨーロッパ文化史、ドイツ文学。著書に『コンスタンツェ・モーツァルト——「悪妻」伝説の虚実』『ヨハン・シュトラウス——ワルツ王と落日のウィーン』、訳書に『ウィーン・フィル コンサートマスターの楽屋から』『チャールズ・バーニー音楽見聞録(ドイツ篇)』など。

(五十音順、敬称略)

Information

ゲスト・アシスタント・郷古 廉 (ごうこ すなお) 2022年4月1日付でゲスト・アシスタント・コンサートマスターに就任。

退団 ホルン首席 福川伸陽 (ふくかわ のぶあき) 2022年3月31日付で退団。

訃報 当団元オーボエ奏者 (1946年10月入団) で団友の川本守人 (かわもと もりひと) 氏が2022年2月19日に逝去されました。享年99。謹んでご冥福をお祈りいたします。

当団元首席フルート奏者 (1960年6月入団) で団友の小出信也 (こいで しんや) 氏が2022年2月22日に逝去されました。享年83。謹んでご冥福をお祈りいたします。

当団元ファゴット奏者 (1960年12月入団) で団友の菅原 眸 (すがわらひとみ) 氏が2022年2月25日に逝去されました。享年88。謹んでご冥福をお祈りいたします。

お詫びと訂正

本誌『Philharmony』2月号にて以下の通り誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正をさせていただきます。

49頁 2行目 小林愛実氏 英文出演者プロフィール
[誤] Koybayashi
[正] Kobayashi

みなさまの声をお聞かせください！

インターネットアンケートにご協力ください

ご鑑賞いただいた公演のご感想や、N響の活動に対するみなさまのご意見を、ぜひお寄せください。
ご協力をお願いいたします。

アクセス方法

STEP

1



スマートフォンで右の
QRコードを読み取る。
またはURLを入力
[https://www.nhkso.or.jp/
enquete.html](https://www.nhkso.or.jp/enquete.html)



STEP

2



開いたリンク先からアンケートサイトに入る

STEP

3



アンケートに答えて(約5分)、
「送信」を押して完了！

ほかにもご意見・ご感想がありましたらお寄せください。

定期公演会場の主催者受付にお持ちいただくか、

〒108-0074 東京都港区高輪2-16-49 NHK交響楽団 フィルハーモニー編集までお送りください。

ふりがな		年齢	歳
お名前		TEL	

個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、必要な場合、ご記入者様への連絡のみに使用し、他の目的に使用いたしません。

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmaster: Kei Shirai

Guest Assistant Concertmaster: Sunao Goko

1st Violins

- Shirabe Aoki
- Kyoko Une
- Yuki Oshika
- Ryota Kuratomi
- Ko Goto
- Tamaki Kobayashi
- Toshihiro Takai
- Yuki Naoi
- Yumiko Nakamura
- Takao Furihata
- Hiroyuki Matsuda
- Nana Miyagawa
- Tsutomu Yamagishi
- Masamichi Yokoshima
- Koichi Yokomizo

2nd Violins

- ◎ Rintaro Omiya
- ☆ Masahiro Morita
- Toshiyuki Kimata
- Maiko Saito
- Keiko Shimada
- Atsushi Shirai
- Akiko Tanaka
- Kirara Tsuboi
- Yosuke Niwa
- Kazuhiro Hirano
- Yoko Funaki
- Kenji Matano
- Haruhiko Mimata
- Masaya Yazu
- Yoshikazu Yamada
- Toshiro Yokoyama
- Yuka Yoneda

Ryuto Murao

Violas

- ◎ Ryo Sasaki
- ◎ Junichiro Murakami
- ☆ Shotaro Nakamura
- Satoshi Ono
- Shigetaka Obata
- Gentaro Sakaguchi
- Mayumi Taniguchi
- Hiroto Tobisawa
- Hironori Nakamura
- Naoyuki Matsui
- Rachel Yui Mikuni
- # Yuya Minorikawa
- Ryo Muramatsu
- Yuji Yamada

Cellos

- ◎ Rei Tsujimoto
- ◎ Ryoichi Fujimori
- Hiroya Ichi
- Yukinori Kobatake
- Masahide Sannohe
- Miho Naka
- Ken'ichi Nishiyama
- Shunsuke Fujimura
- Hiroshi Miyasaka
- Yuki Murai
- Shunsuke Yamanouchi
- Masako Watanabe

Contrabasses

- ◎ Shu Yoshida
- ☆ Masanori Ichikawa
- ☆ Shinji Nishiyama
- Eiji Inagawa
- Jun Okamoto
- Takashi Konno
- Hiroaki Sagawa
- Tatsuro Honma
- Yoko Yanai

Flutes

- ◎ Masayuki Kai
- ◎ Hiroaki Kanda
- Maho Kajikawa
- Jun Sugawara
- Junji Nakamura

Oboes

- ◎ Satoki Aoyama
- ◎ Yumi Yoshimura
- Shoko Ikeda
- Izumi Tsuboike
- Hitoshi Wakui

Clarinets

- ◎ Kei Ito
- ◎ Kenji Matsumoto
- # Takashi Yamane

Bassoons

- ◎ Hironori Ugajin
- ◎ Kazusa Mizutani
- Yuki Sato
- Keiko Sugawara
- Itaru Morita

Horns

- ◎ Hitoshi Imai
- Naoki Ishiyama
- Yasushi Katsumata
- Hiroshi Kigawa
- Kazuko Nomiyama

Trumpets

- ◎ Kazuaki Kikumoto
- ◎ Tomoyuki Hasegawa
- Tomoki Ando

Eiji Yamamoto

Trombones

- ◎ Hikaru Koga
- ◎ Mikio Nitta
- Ko Ikegami
- Hiroyuki Kurogane
- Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

- ◎ Toru Uematsu
- ◎ Shoichi Kubo

Percussion

- Tatsuya Ishikawa
- Hidemitsu Kuroda
- Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa

Stage Manager

- Masaya Tokunaga
- Daisuke Kurokawa

Librarian

- Akane Oki
- Hideyo Kimura

(◎) Principal, (☆) Acting Principal, (○) Vice Principal, (□) Acting Vice Principal, (#) Inspector

PROGRAM

Ikebukuro

A

Concert No.1954

Tokyo Metropolitan Theatre

April

9(Sat) 6:00pm

10(Sun) 2:00pm

conductor

Christoph Eschenbach

flute

Stathis Karapanos

concertmaster

Fuminori Maro Shinozaki

Antonín Dvořák

Carnival, overture Op. 92 [10']

Wolfgang Amadeus Mozart

Flute Concerto No. 1 G Major K. 313

[25']

I Allegro maestoso

II Adagio ma non troppo

III Rondo: Tempo di menuetto

— intermission (20 minutes) —

Ludwig van Beethoven

Symphony No. 7 A Major Op. 92

[43']

I Poco sostenuto – Vivace

II Allegretto

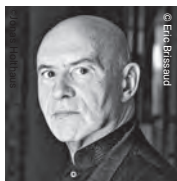
III Presto

IV Allegro con brio

Under the auspice of: Toshima City

Artist Profiles

Christoph Eschenbach, conductor



© Eric Brisseaud

Christoph Eschenbach was born in Breslau, Germany (now Wrocław, Poland), and gained fame as a pianist after winning the Clara Haskil Piano Competition in 1965. Since embarking on a career as a conductor, he has been assigned positions of music director and chief conductor of leading orchestras including the Zurich Tonhalle Orchestra, the North German Radio Symphony Orchestra (now the NDR Elbphilharmonie Orchester) and the Philadelphia Orchestra. He now serves as Chief Conductor of the Konzerthausorchester Berlin, the position he was appointed to in 2019.

His first collaboration with the NHK Symphony Orchestra was in 1979 as a pianist, then in 1987, as both conductor and pianist. In 2017, he returned to the orchestra for the first time

Ikebukuro

A

9 & 10, APR. 2022

in 30 years, and then in January 2020, just before the outbreak of the pandemic, to conduct the orchestra's subscription concerts. He is known for his sublime artistic style and eloquent expression. He will surely display such music making on this visit.

Stathis Karapanos, flute



Athens-born Greek flutist Stathis Karapanos started learning flute at the age of five, studied at the National Conservatory of Athens, the Hochschule für Musik Karlsruhe, and now studies at the Conservatoire National Supérieur de Musique de Paris under the tutelage of Philippe Bernold.

He has won numerous international competitions, and after serving as First Guest Flutist of the Greek Youth Symphony Orchestra (Athens), then First Principal Flutist of the Athens State Symphony Orchestra, he launched his career as a soloist, working with orchestras such as hr-Sinfonieorchester, the Orchestre Philharmonique de Radio France as well as with artists including baritone singer Matthias Goerne and pianist Lang Lang.

He has formed particularly close relations with Christoph Eschenbach, making concert appearances under his baton on a regular basis, and also performing with his piano accompaniment in recitals. This is Mr. Karapanos's first appearance with the NHK Symphony Orchestra.

[Christoph Eschenbach by Motoyuki Teranishi, music critic, Stathis Karapanos by Katsuhiko Shibata, music critic]

Program Notes | Kumiko Nishi

Antonín Dvořák (1841–1904)

Carnival, overture Op. 92

The late-Romantic composer Dvořák was born near Prague. He further developed Czech national classical music following in the footsteps of his elder contemporary B. Smetana. When Dvořák wrote “Carnival” around his fiftieth birthday in 1891, his name was already recognized worldwide. It was first performed the next year in Prague as the second of his trilogy of concert overtures entitled “Nature, Life and Love.” Though “Carnival” was eventually printed as the separate piece Op. 92, “life” could still be a key word for us to grasp the composer’s idea behind this human, lively overture.

The work is in ternary form A–B–A. The section A, in duple time at a zippy pace, brings about great festivity and rejoicings accented by cymbals, tambourine, triangle and timpani as if to describe people in high spirits during the carnival. The slower section B, in triple time, begins with a serene melody by the English horn joined by woodwinds and violin solos. Here we hear the main theme embodying the nature of the overture “In Nature’s Realm” Op. 91 that Dvořák originally composed as the first of the above-mentioned trilogy.

Flute Concerto No. 1 G Major K. 313

Mozart's life was one of frequent travel. Born in Salzburg, he was a phenomenal musical prodigy from early childhood and made his first musical trip at age five to Munich. In the late 1770s, he undertook a journey to Paris with his mother via Mannheim, an important musical capital of the time known for having one of the best court orchestras in Europe. It is said that during this stay in Mannheim, in early 1778, the young traveler created the Flute Concerto K. 313 as one of a set of commissions from a wealthy Dutch amateur flutist. In a letter to his father, Mozart famously complains of writing some pieces for flute, an instrument he "cannot stand." However, K. 313 shows no sign of his reluctance, and it is on the contrary an immortal masterpiece for the instrument. The first movement, in sonata-allegro form, introduces the bouncy, dotted first theme with strings from the opening bar. After the slow movement with deep lyricism, the finale in rondo form appears in an elegant, cheerful minuet dance, where the soloist gives the refrain (recurrent main theme) at the very beginning.

Ludwig van Beethoven (1770–1827)

Symphony No. 7 A Major Op. 92

The year 2020 marked the 250th anniversary since the birth of the monumental German composer Beethoven, who left us with so many important works. Of all his nine symphonies, the Seventh is arguably the most closely connected with the notion of dance, displaying a rhythmic vitality. We can hear why R. Wagner extolled this piece with the celebrated expression, "apotheosis of dance."

Completed in 1812, Op. 92 was premiered the next year in Vienna under Beethoven's own baton. The first movement in sonata form is opened by a large Apollonian, peaceful introduction before the light-hearted main section dominated by dotted rhythm. The second movement in a steady duple meter is a sort of march, which is in a way, the most fundamental form of dance. Its slower tempo and obsessively repeated note in a dark mood seem to evoke a funeral procession. The third movement is a brisk scherzo with two contrasting sections alternating with each other (A–B–A–B–A). The fourth movement, again in sonata form, is a Dionysian wild finale distinctive of a repeated rhythm with an accent on the second beat.

Kumiko Nishi

English-French-Japanese translator based in the USA. Holds a MA in musicology from the University of Lyon II, France and a BA from the Tokyo University of the Arts (Geidai).

PROGRAM

Ikebukuro



Concert No.1955

Tokyo Metropolitan Theatre

April
15(Fri) 7:30pm
16(Sat) 2:00pm

conductor

Christoph Eschenbach | for a profile of Christoph Eschenbach, see p. 45

concertmaster

Ryotaro Ito

[Pre-concert Chamber Music – Exclusive to Ikebukuro Program C]

Friday 15th from 6:45pm / Saturday 16th from 1:15pm

Ryotaro Ito (vn.), Koichi Yokomizo (vn.), Hironori Nakamura (va.), Shunsuke Fujimura (vc.)

Webern / Langsamer Satz

* You may enter and leave as you please during the performance. * Enjoy chamber music from your own seat.

Gustav Mahler

Symphony No. 5 C-sharp Minor [70']

I Trauermarsch: In gemessenem Schritt,

Streng. Wie ein Kondukt

II Stürmisch bewegt, mit größter Vehemenz

III Scherzo: Kräftig, nicht zu schnell

IV Adagietto: Sehr langsam

V Rondo – Finale: Allegro

- This concert will be performed with no intermission.

Under the auspice of: Toshima City

Program Note | Kumiko Nishi

Gustav Mahler (1860–1911)

Symphony No. 5 C-sharp Minor

Alongside A. Bruckner, Mahler is considered a late-Romantic titan for his expressive and deeply reflective symphonies of great length. His style is influenced by R. Wagner when it comes to rich harmonies, extreme chromaticism, long-stretched melodies and colossal orchestration.

Mahler's Fifth includes "Adagietto," his best-known movement for the public due to L. Visconti's movie "Death in Venice" (1971) where we hear this serene, longing-like music. One of the biographical anecdotes regarding this movement concerns his wife Alma, whom Mahler met and married during the period he was writing this symphony. According to a note by the conductor W. Mengelberg who was champion of Mahler's music and close to the couple, "Adagietto" was the composer's declaration of love to her.

The Fifth was composed between 1901 and 1902. One of the best conductors of all time, Mahler himself led the Gürzenich-Orchester Köln for its world premiere held in 1904. Since then, its overall design starting in a minor key and ending in major has been frequently compared to the dramatic tonal catharsis (C minor to C major) that L.v. Beethoven's Fifth has.

Mahler groups five movements into three parts to create a symmetrical structure around the central third movement. [Part 1] The symphony begins in C-sharp minor as a funeral march. The opening gloomy fanfare by trumpet solo reminds us of, again, Beethoven's Fifth, more precisely its famous "fate" motto (brief theme) with four notes. Mahler indicates that the second movement, still in dismal tone (A minor), should be "Moving stormily, with the greatest vehemence." The brass chorale appearing for an instance at its closing phase foretells the bright conclusion of the Fifth. [Part 2] The third movement, the longest one in this symphony, is a pleasant D-major scherzo. [Part 3] There is no pause between the fourth movement "Adagietto," performed only by harp and strings, and the fifth movement. After a pastoral introduction, this merry, polyphonic finale in D major comes to a triumphant denouement looking back forcefully on the brass chorale of the second movement.

The Subscription Concerts Program 2021–22

2022 04	Kiebukuro A	Concert No. 1954	Dvořák <i>Carnival</i> , overture Op. 92 Mozart Flute Concerto No. 1 G Major K. 313 Beethoven Symphony No. 7 A Major Op. 92	Ordinary Ticket S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth Ticket S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
		April 9 (Sat) 6:00pm 10 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Christoph Eschenbach, conductor Stathis Karapanos, flute		
	B		Due to the renovation of Suntory Hall, April 2022 concerts will be cancelled.		
	Kiebukuro C	Concert No. 1955	Mahler Symphony No. 5 C-sharp Minor	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
		April 15 (Fri) 7:30pm 16 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Christoph Eschenbach, conductor		
2022 05	Kiebukuro A	Concert No. 1956	Schumann Violin Concerto D Minor Schubert Symphony No. 8 C Major D. 944, <i>The Great</i>	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
		May 14 (Sat) 6:00pm 15 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Marek Janowski, conductor Alena Baeva, violin		
	B	Concert No. 1958	Mendelssohn <i>Calm Sea and Prosperous Voyage</i> , overture Op. 27 Ravel Piano Concerto G Major Rimsky-Korsakov <i>Schéhérazade</i> , symphonic suite Op. 35	Ordinary S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	Youth S 5,800 A 4,800 B 3,800 C 2,800 D 1,800
		May 25 (Wed) 7:00pm 26 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Fabio Luisi, conductor Yu Kosuge, piano		
	Kiebukuro C	Concert No. 1957	Mozart <i>Don Giovanni</i> , opera K. 527 – overture Mozart Piano Concerto No. 20 D Minor K. 466 Beethoven Symphony No. 8 F Major Op. 93	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
		May 20 (Fri) 7:30pm 21 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Fabio Luisi, conductor Alexander Melnikov, piano		
2022 06	Kiebukuro A	Concert No. 1959	Dukas <i>La Péri</i> , a danced poem (With its appended Fanfare) Ravel <i>Schéhérazade</i> * Debussy <i>Prélude à l'après-midi d'un faune</i> Florent Schmitt <i>La tragédie de Salomé</i> , ballet suite Op. 50	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
		June 11 (Sat) 6:00pm 12 (Sun) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Stéphane Denève, conductor Stéphanie d'Oustrac, mezzo soprano*		
	B	Concert No. 1961	Bach / Suzuki Passacaglia and Fugue C Minor BWV582 Britten Violin Concerto Op. 15 Mozart Symphony No. 41 C Major K. 551, <i>Jupiter</i>	Ordinary S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	Youth S 5,500 A 4,500 B 3,500 C 2,500 D 1,500
		June 22 (Wed) 7:00pm 23 (Thu) 7:00pm Suntory Hall	Masato Suzuki, conductor Sunao Goko, violin		
	Kiebukuro C	Concert No. 1960	Poulenc <i>Les biches</i> , ballet suite Poulenc Organ Concerto G Minor Gershwin An American in Paris	Ordinary S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200	Youth S 4,500 A 4,000 B 3,000 C 2,000 D 1,400
		June 17 (Fri) 7:30pm 18 (Sat) 2:00pm Tokyo Metropolitan Theatre	Stéphane Denève, conductor Olivier Latry, organ		

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

The Subscription Concerts Program 2022–23

2022
09

A	Concert No. 1962	Chief Conductor Fabio Luisi Inauguration Concert Verdi <i>Messa da requiem</i>	Ordinary	Youth
	September 10 (Sat) 6:00pm 11 (Sun) 2:00pm	Fabio Luisi, conductor Hibla Gerzmava, soprano Olesya Petrova, mezzo soprano René Barbera, tenor Kwangchul Youn, bass New National Theatre Chorus, chorus	S 12,000 A 10,000 B 8,000 C 6,500 D 5,000 E 3,300	S 6,000 A 5,000 B 4,000 C 3,200 D 2,500 E 1,600
NHK Hall				

B	Concert No. 1964	Chief Conductor Fabio Luisi Inauguration Concert Beethoven Violin Concerto D Major Op. 61 Brahms Symphony No. 2 D Major Op. 73	Ordinary	Youth
	September 21 (Wed) 7:00pm 22 (Thu) 7:00pm	Fabio Luisi, conductor James Ehnes, violin	S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	S 4,500 A 4,000 B 3,300 C 2,500 D 1,800
Suntory Hall				

C	Concert No. 1963	Chief Conductor Fabio Luisi Inauguration Concert R. Strauss <i>Don Juan</i> , symphonic poem Op. 20 R. Strauss Oboe Concerto D Major R. Strauss Suite from the Opera <i>Der Rosenkavalier</i>	Ordinary	Youth
	September 16 (Fri) 7:30pm 17 (Sat) 2:00pm	Fabio Luisi, conductor Eva Steinaa, oboe	S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200 E 1,600	S 3,500 A 3,000 B 2,400 C 1,900 D 1,400 E 800
NHK Hall				

2022
10

A	Concert No. 1965	Mahler Symphony No. 9 D Major	Ordinary	Youth
	October 15 (Sat) 6:00pm 16 (Sun) 2:00pm	Herbert Blomstedt, conductor	S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400 E 2,800	S 4,500 A 4,000 B 3,300 C 2,500 D 1,800 E 1,400
NHK Hall				

B	Concert No. 1967	Grieg Piano Concerto A Minor Op.16 Nielsen Symphony No. 3 Op. 27, <i>Sinfonia espansiva</i>	Ordinary	Youth
	October 26 (Wed) 7:00pm 27 (Thu) 7:00pm	Herbert Blomstedt, conductor Olli Mustonen, piano	S 9,800 A 8,400 B 6,700 C 5,400 D 4,400	S 4,500 A 4,000 B 3,300 C 2,500 D 1,800
Suntory Hall				

C	Concert No. 1966	Schubert Symphony No. 1 D Major D. 82 Schubert Symphony No. 6 C Major D. 589	Ordinary	Youth
	October 21 (Fri) 7:30pm 22 (Sat) 2:00pm	Herbert Blomstedt, conductor	S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200 E 1,600	S 3,500 A 3,000 B 2,400 C 1,900 D 1,400 E 800
NHK Hall				

2022
11

A	Concert No. 1968	Ifukube <i>Sinfonia Tapkaara</i> Shostakovich Symphony No. 10 E Minor Op. 93	Ordinary	Youth
	November 12 (Sat) 6:00pm 13 (Sun) 2:00pm	Michiyoshi Inoue, conductor	S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700 E 2,000	S 4,000 A 3,500 B 2,800 C 2,100 D 1,500 E 1,000
NHK Hall				

B	Concert No. 1970	The 150th Anniversary of Vaughan Williams's Birth Vaughan Williams Five Variants of <i>Dives and Lazarus</i> Mendelssohn Violin Concerto E Minor Op. 64 Vaughan Williams Symphony No. 5 D Major	Ordinary	Youth
	November 23 (Wed) 7:00pm 24 (Thu) 7:00pm	Leonard Slatkin, conductor Ray Chen, violin	S 8,900 A 7,400 B 5,800 C 4,700 D 3,700	S 4,000 A 3,500 B 2,800 C 2,100 D 1,500
Suntory Hall				

C	Concert No. 1969	Copland <i>Appalachian Spring</i> , ballet (complete) Copland <i>Rodeo</i> , ballet (complete)	Ordinary	Youth
	November 18 (Fri) 7:30pm 19 (Sat) 2:00pm	Leonard Slatkin, conductor	S 7,400 A 6,500 B 5,200 C 4,200 D 3,200 E 1,600	S 3,500 A 3,000 B 2,400 C 1,900 D 1,400 E 800
NHK Hall				

A NHK Hall
Sat. 6:00pm (doors open at 5:00pm)
Sun. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

B Suntory Hall
Wed. 7:00pm (doors open at 6:20pm)
Thu. 7:00pm (doors open at 6:20pm)

C NHK Hall
Fri. 7:30pm (doors open at 6:30pm)
Sat. 2:00pm (doors open at 1:00pm)

2022
12

A Concert No. **1971**
December
3 (Sat) 6:00pm
4 (Sun) 2:00pm

NHK Hall

Wagner *Wesendonck Lieder*
Bruckner Symphony No. 2 C Minor (First Version / 1872)

Fabio Luisi, conductor
Mihoko Fujimura, mezzo soprano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 4,500
A 8,400	A 4,000
B 6,700	B 3,300
C 5,400	C 2,500
D 4,400	D 1,800
E 2,800	E 1,400

B Concert No. **1973**
December
14 (Wed) 7:00pm
15 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Glinka *Ruslan and Lyudmila*, opera – Overture
Rakhmaninov Piano Concerto No. 2 C Minor Op. 18
Dvořák Symphony No. 9 E Minor Op. 95, *From the New World*

Fabio Luisi, conductor
Hisako Kawamura, piano

Ordinary	Youth
S 9,800	S 4,500
A 8,400	A 4,000
B 6,700	B 3,300
C 5,400	C 2,500
D 4,400	D 1,800

C Concert No. **1972**
December
9 (Fri) 7:30pm
10 (Sat) 2:00pm

NHK Hall

Mozart Symphony No. 36 C Major K. 425, *Linz*
Mendelssohn Symphony No. 3 A Minor Op. 56, *Scottish*

Fabio Luisi, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 3,500
A 6,500	A 3,000
B 5,200	B 2,400
C 4,200	C 1,900
D 3,200	D 1,400
E 1,600	E 800

2023
01

A Concert No. **1974**
January
14 (Sat) 6:00pm
15 (Sun) 2:00pm

NHK Hall

Brahms Piano Concerto No. 2 B-flat Major Op. 83
Beethoven Symphony No. 4 B-flat Major Op. 60

Tugan Sokhiev, conductor
Haochen Zhang, piano

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500
E 2,000	E 1,000

B Concert No. **1976**
January
25 (Wed) 7:00pm
26 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Bartók Viola Concerto
Ravel *Daphnis et Chloé*, suite Nos. 1 & 2
Debussy *La mer*, three symphonic sketches

Tugan Sokhiev, conductor
Amihai Grosz, viola

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500

C Concert No. **1975**
January
20 (Fri) 7:30pm
21 (Sat) 2:00pm

NHK Hall

Rakhmaninov *The Rock*, fantasy, Op. 7
Tchaikovsky Symphony No. 1 G Minor Op. 13, *Winter Dreams*

Tugan Sokhiev, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 3,500
A 6,500	A 3,000
B 5,200	B 2,400
C 4,200	C 1,900
D 3,200	D 1,400
E 1,600	E 800

2023
02

A Concert No. **1977**
February
4 (Sat) 6:00pm
5 (Sun) 2:00pm

NHK Hall

Hisatada Otaka Cello Concerto A Minor Op. 20
Panufnik *Katyń Epitaph*
Lutosławski Concerto for Orchestra

Tadaaki Otaka, conductor
Dai Miyata, cello

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500
E 2,000	E 1,000

B Concert No. **1979**
February
15 (Wed) 7:00pm
16 (Thu) 7:00pm

Suntory Hall

Dvořák *Hussite Overture*, Op. 67
Szymanowski Symphony No. 4 Op. 60, *Symphonie concertante**
Brahms Symphony No. 4 E Minor Op. 98

Jakub Hruša, conductor
Piotr Anderszewski, piano*

Ordinary	Youth
S 8,900	S 4,000
A 7,400	A 3,500
B 5,800	B 2,800
C 4,700	C 2,100
D 3,700	D 1,500

C Concert No. **1978**
February
10 (Fri) 7:30pm
11 (Sat) 2:00pm

NHK Hall

Bernstein Symphonic Dances from *West Side Story*
Rakhmaninov Symphonic Dances Op. 45

Jakub Hruša, conductor

Ordinary	Youth
S 7,400	S 3,500
A 6,500	A 3,000
B 5,200	B 2,400
C 4,200	C 1,900
D 3,200	D 1,400
E 1,600	E 800

2023
04

A	Concert No. 1980	R. Strauss Symphonic Fragments from <i>Josephs Legende</i> R. Strauss <i>An Alpine Symphony</i> Op. 64	Ordinary Youth
	April 15 (Sat) 6:00pm 16 (Sun) 2:00pm	Paavo Järvi, conductor	S 9,800 S 4,500 A 8,400 A 4,000 B 7,000 B 3,300 C 5,400 C 2,500 D 4,400 D 1,800 E 2,800 E 1,400
B	Concert No. 1982	Sibelius Symphony No. 4 A Minor Op. 63 Rakhmaninov Rhapsody on a Theme of Paganini Op. 43* Tchaikovsky <i>Francesca da Rimini</i> , Symphonic fantasy after Dante, Op. 32	Ordinary Youth
	April 26 (Wed) 7:00pm 27 (Thu) 7:00pm	Paavo Järvi, conductor Marie-Ange Nguci, piano*	S 9,800 S 4,500 A 8,400 A 4,000 B 7,000 B 3,300 C 5,400 C 2,500 D 4,400 D 1,800
C	Concert No. 1981	Roussel Sinfonietta for String Orchestra Op. 52 Poulenc Sinfonietta Ibert Divertissement for Chamber Orchestra	Ordinary Youth
	April 21 (Fri) 7:30pm 22 (Sat) 2:00pm	Paavo Järvi, conductor	S 7,400 S 3,500 A 6,500 A 3,000 B 5,200 B 2,400 C 4,200 C 1,900 D 3,200 D 1,400 E 1,600 E 800

2023
05

A	Concert No. 1983	Rakhmaninov Songs Op. 34 – <i>The Raising of Lazarus</i> (arr. Shimono), <i>Vocalise</i> Gubaidulina <i>Offertorium</i> * Dvořák Symphony No. 7 D Minor Op. 70	Ordinary Youth
	May 13 (Sat) 6:00pm 14 (Sun) 2:00pm	Tatsuya Shimono, conductor Baiba Skride, violin*	S 8,900 S 4,000 A 7,400 A 3,500 B 5,800 B 2,800 C 4,700 C 2,100 D 3,700 D 1,500 E 2,000 E 1,000
B	Concert No. 1985	Haydn Symphony No. 82 C Major Hob. I-82, <i>The Bear</i> Mozart Horn Concerto No. 3 E-flat Major K. 447 Beethoven Symphony No. 6 F Major Op. 68, <i>Pastoral</i>	Ordinary Youth
	May 24 (Wed) 7:00pm 25 (Thu) 7:00pm	Fabio Luisi, conductor Nobuaki Fukukawa, horn	S 9,800 S 4,500 A 8,400 A 4,000 B 7,000 B 3,300 C 5,400 C 2,500 D 4,400 D 1,800
C	Concert No. 1984	Saint-Saëns Piano Concerto No. 5 F Major Op. 103, <i>The Egyptian</i> Franck Symphony D Minor	Ordinary Youth
	May 19 (Fri) 7:30pm 20 (Sat) 2:00pm	Fabio Luisi, conductor Pascal Rogé, piano	S 7,400 S 3,500 A 6,500 A 3,000 B 5,200 B 2,400 C 4,200 C 1,900 D 3,200 D 1,400 E 1,600 E 800

2023
06

A	Concert No. 1986	Prokofiev <i>The Love for Three Oranges</i> Op. 33bis, symphonic suite Prokofiev Piano Concerto No. 2 G Minor Op. 16 Casella Symphonic Fragments from <i>La donna serpente</i> [Japan Première]	Ordinary Youth
	June 10 (Sat) 6:00pm 11 (Sun) 2:00pm	Gianandrea Noseda, conductor Alexander Toradze, piano	S 8,900 S 4,000 A 7,400 A 3,500 B 5,800 B 2,800 C 4,700 C 2,100 D 3,700 D 1,500 E 2,000 E 1,000
B	Concert No. 1988	Bach / Respighi <i>Three Chorales</i> Respighi <i>Concerto gregoriano</i> * Rakhmaninov Symphony No. 1 D Minor Op. 13	Ordinary Youth
	June 21 (Wed) 7:00pm 22 (Thu) 7:00pm	Gianandrea Noseda, conductor Sayaka Shoji, violin*	S 8,900 S 4,000 A 7,400 A 3,500 B 5,800 B 2,800 C 4,700 C 2,100 D 3,700 D 1,500
C	Concert No. 1987	Shostakovich Symphony No. 8 C Minor Op. 65	Ordinary Youth
	June 16 (Fri) 7:30pm 17 (Sat) 2:00pm	Gianandrea Noseda, conductor	S 7,400 S 3,500 A 6,500 A 3,000 B 5,200 B 2,400 C 4,200 C 1,900 D 3,200 D 1,400 E 1,600 E 800

(consumption tax included)

All performers and programs are subject to change or cancellation depending on the circumstances.

今回は日本指揮界を牽引する高関健による、チャイコフスキー・プログラム！
緻密な音楽解釈と、しなやかでロマンティックな表現で注目を集める新時代の実力派、周防亮介がN響初共演で、
圧倒的な演奏を披露します。珠玉の名曲と極上の演奏を求め、新緑あふれる上野の森へ出かけませんか？

ゴールデンウィークは、
新緑あふれる上野で極上の演奏を楽しもう！
日本最高峰のオーケストラが贈る

指揮：高関 健

ヴァイオリン：周防亮介

管弦楽：NHK交響楽団

2022

響

ゴールデン・クラシック

ロシア・ロマンティズムあふれるチャイコフスキー名曲選！

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35 交響曲第5番 ホ短調 op.64

2022年5月3日(火・祝) 15:30開演(14:45開場)

東京文化会館 大ホール S 7,800円 A 6,800円 B 5,800円 C 4,800円 D 3,800円(税込)

チケットのご予約

■東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>

■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/nhks-gw//>

■ローソンチケット [http://l-tike.com/\(Lコード:31974\)](http://l-tike.com/(Lコード:31974)) ■イープラス <http://eplus.jp/>

お問合せ：サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00~15:00)

本公演は2021年5月3日(月・祝)実施予定公演が、緊急事態宣言発出の影響で中止となり、2022年5月3日(火・祝)に同一内容で延期開催するコンサートです。2021年5月3日(月・祝)の公演チケットをお持ちの方は、お手元のチケットでご入場いただけます。



主催：MIYAZAWA & Co.

※未就学児童の入場不可。※都合により、出演者・曲目が変更となる場合がございます。

ともに創る未来へ。- Challenge SEITOKU -

かけがえない学生時代、思いきり成長したい。

培った力を、誰かの幸せのために社会で役立てたい。

その意欲を、変化が加速する新時代に活躍する力へ。

自由で、多様で、限りない、学びの世界で学問しよう。

自分史上最高をも、超える挑戦を。

「新しい価値を創造する」学際的なプログラム

Field Linkage (フィールドリンケージ)

学部・学科を超えた学際的な学びや、社会との連携によるプログラムが始動。多面的・多角的な視点や問題解決能力を養い、新たな価値を創造する力を育みます。

新時代に生きるリーダーシップを備え、新しい価値を創造し提案できる女性へ

Business Field Linkage (ビジネスフィールドリンケージ)

高度な専門性を実社会で活かすために、ビジネスの最前線やDX・AIの活用を実践的に学ぶプログラムが本格始動。

先見の視点とスキル、協働的リーダーシップを発揮し、課題解決へと導く、新時代の女性リーダーを育成します。

新しい時代に挑戦する「教育学部」がスタート！

新時代を生きる人を育てる 女性総合大学

実就職率
全国女子大学

1位

の教育力

(96.3% 2021年卒業生)
※卒業生500人以上の女子大実就職率
2021年大学通信調べ



SEITOKU

自立するチカラをはぐくむ女性総合大学。

聖徳大学

聖徳大学短期大学部

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL.047-365-1111(大代表)
<https://www.seitoku-u.ac.jp/>

聖徳大学
音楽学部(女子)

聖徳大学大学院
音楽文化研究科
【博士前期・後期課程】(共学)

聖徳大学大学院 聖徳大学教職大学院 聖徳大学 聖徳大学短期大学部 聖徳大学幼児教育専門学校
光英 VERITAS 高等学校 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 光英 VERITAS 中学校
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 聖徳大学附属小学校 聖徳大学三田幼稚園 聖徳大学八王子幼稚園
聖徳大学多摩幼稚園 聖徳大学附属幼稚園 聖徳大学附属第二幼稚園 聖徳大学附属成田幼稚園
聖徳大学附属浦安幼稚園 聖徳大学オープン・アカデミー (SOA)

ME NO ME SINCE 1977 目の眼



古美術・骨董月刊誌「目の眼」

最新号 WEB 無料公開中

4月号 発売中 | 1,320円 (税込)

京都で生まれた民藝
柳宗悦と河井寛次郎の邂逅



感動は、聴くほどに新しく。



©NHK交響楽団

“音楽感動を最高のレベルで体験する喜び”。ESOTERICは創設以来、アーティストが録音した音の再現を目標に、オーディオの開発を行ってまいりました。

聴き込むほどに、音楽から新しい感動を引き出し、オリジナリティーとこだわりが溢れたオーディオでありたい。私たちは、日本発のハイエンドブランドとしての独自の道を歩んでいます。

時代とともに変わる音楽再生のスタイル。しかし、音楽を心から愛し、本物の感動を求める想いは変わりません。その想いに、最上級のオーディオで応える。それが私たちの使命です。



ESOTERIC

Grandioso C1X/M1X
フラッグシップ・アンブシステム

世界が注目
スペインの逸材
ついに、日本デビュー

KAZUKI YAMADA
CONDUCTOR

メニューイン国際コンクール優勝記念

マリア・ドウエニャス

& N響スペシャルコンサート

MARÍA DUEÑAS

& NHK SYMPHONY ORCHESTRA SPECIAL CONCERT

ヴァイオリン: マリア・ドウエニャス

グアルネリ・デル・ジェス1736年製ヴァイオリン「ムンツ」使用

指揮: 山田和樹

管弦楽: NHK交響楽団

ラヴェル: ツィガース

ファリャ: バレエ組曲「三角帽子」第1番、第2番

ヴェルディ: 歌劇「運命の力」序曲

パガニーニ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 ニ長調 作品6

2022年4月26日 火 開演 19:00
開場 18:00

東京芸術劇場コンサートホール

S ¥9,000 A ¥8,000 B ¥6,000 C ¥5,000 D ¥3,000

※出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※原則として、公演中止以外でのチケットの払い戻しはいたしません。

※本公演では新型コロナウイルス感染防止対策を実施します。

※会場内での撮影、録音、録画等はお断りいたします。

※開演時に遅れますとご入場をお待ちいただくことがあります。

※車いすのままご鑑賞をご希望の方は、事前にお問合せ先にご連絡ください。

※就学前のお子様のお同伴・入場はご遠慮ください。

【チケット収益について】

コンサートのチケット収益は、がんを経験している人とその家族や友人など、
がんに影響を受ける方々への無料の相談支援の場『マギーズ東京』の運営費となります。

主催: 日本音楽財団

共催: NHK交響楽団、認定NPO法人マギーズ東京

助成: 日本財団(予定)

チケット取り扱い

N響ガイド 03-5793-8161

東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296 <https://www.geigeki.jp/ti/>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

マギーズ東京Peatix <https://maggiestokyo.peatix.com/>

チケットのお問合せ 認定NPO法人マギーズ東京チャリティーコンサート事務局

03-6261-7665 concert@maggiestokyo.org

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

NHKSO
NHK SYMPHONY ORCHESTRA
TOKYO

MAGGIE'S
Tokyo

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

脱炭素の道へ。
水素とLPガスが加速する。



温暖化ガス排出実質ゼロ社会の実現を目指して。

イワタニはLPガス・^{マリンガス}Maruigasの全国販売ネットワークを活かし、脱炭素の主役となる水素を暮らしと産業にお届けする準備を進めています。

さらに、低炭素なLPガスの開発、廃プラスチックやバイオガス由来の水素やLPガス製造、新しいLPガス合成技術などを推進。

クリーンエネルギーのトップランナーとして走り続けます。

水素&LPガスシェアNo.1[※]

※国内における販売シェア(2021年5月現在、自社調べ)

Iwatani

岩谷産業株式会社